

2019 年北京国際園芸博覧会

日本国出展 報告書



目次

記録写真・・・・・・・・・・・・・・	1	第2章 出展業務・・・・・・・・・・・・	46
・オープニングセレモニー	1	1. 日本国出展経緯	47
・ジャパンデー・フェスティバルセレモニー	3	2. 事務局推進体制	47
・ジャパンデー	4	3. 日本国出展の基本的方向性（日本国出展委員会）	49
両国代表面談		4. 出展基本方針	51
2025 年大阪・関西万博プレゼンテーション		4- 1. 屋内出展基本方針	
アトラクション「花いけライブパフォーマンス」		4- 2. 屋外出展基本方針	
ビジネス意見交換会		5. 屋内出展展示スケジュール	54
博覧会会場視察		6. 屋内出展募集業務	55
記念レセプション		6- 1. メイン展示スタンド	
・ジャパンフェスティバル	7	6- 2. コンテスト出品花き	
花いけバトル		6- 3. 輸出促進 PR 用花き	
2027 年横浜国際園芸博覧会プレゼンテーション		6- 4. ボランティア催事参加者	
日本の縁日		6- 5. 花き専門スタッフ（募集と研修）	
庭園解説イベント		6- 6. 展示用資材協賛	
関連イベント		7. 屋内出展輸送業務	56
・クロージングセレモニー	9	7- 1. 輸送フロー図	
・屋外展示（日本庭園）	10	7- 2. 国内輸送計画	
・日本展示館展示	12	7- 3. 出荷手順	
メイン展示スタンド		7- 4. 通関・検疫	
ボランティア参加催事		7- 5. 荷受け	
いけなば展示スタンド		7- 6. 花材・資材の廃棄処分	
盆栽展示スタンド		8. 日本展示館及びバックヤード、屋外庭園	59
フラワーアレンジメントスタンド		8- 1. 屋内出展概要	
花き展示スタンド		8- 2. 屋内出展施工スケジュール	
花き専門スタッフ作品		8- 3. 事務所	
・花き専門スタッフワークショップ	34	8- 4. ビニールハウス	
・AIPH 国際ガーデンコンテスト	35	8- 5. コンテナ	
・コンテスト出品花き／コンテスト結果	36	8- 6. 日本庭園整備	
第1章 博覧会概要・・・・・・・・・・	38	9. 屋内展示施工	63
1. 開催概要	39	9- 1. 施工スケジュール	
2. 会場図・施設	40	9- 2. メイン展示、いけなば展示等	
3. 日本国出展概要	41	9- 3. 情報発信スタンド、商談コーナー、 協賛展示コーナー等	
4. 各国・地域の出展	42	10. 運営業務	65
5. ナショナルデー	44	10- 1. 屋内出展 展示入れ替え	
		10- 2. 屋内出展 出展団体対応業務	
		10- 3. 屋内出展 花きの保管管理業務	
		10- 4. 屋内出展 輸出促進 PR 用花き管理	
		10- 5. コンテスト出品	

10- 6. 各種申請	
10- 7. 案内誘導	
10- 8. 屋内出展 撤去	
10- 9. 屋外出展 運営業務	
11. 行催事	72
11- 1. 開幕式	
11- 2. オープニングセレモニー	
11- 3. ジャパンデー・フェスティバル	
11- 4. クロージングセレモニー	
11- 5. 閉幕式	
12. ビジネス意見交換会	78
12- 1. ビジネス意見交換会の概要	
12- 2. 意見交換会内容	
13. 接遇業務	79
13- 1. 日本からの賓客対応	
13- 2. 中国の賓客対応	
13- 3. 他出展国の賓客対応	

第3章 広報業務・・・・・・・・・・ 80

1. 広報ツール	81
1- 1. キービジュアル	
1- 2. ウェブサイト、 公式 Facebook、公式 Weibo	
1- 3. 配布カード、パンフレット	
1- 4. 農林水産省、日本大使館 Facebook、Twitter 掲載実績	
1- 5. 事前広報	
2. 取材等実績	85

第4章 コンテスト結果・・・・・・・・ 86

1. AIPH 国際ガーデンコンテスト	87
2. 国際花きコンテスト	88

第5章 輸出促進 PR 用出品花き・・ 90

第6章 屋内出展の成果と課題・・・・ 98

1. 出展の成果	99
2. 今後に向けた課題	99

第7章 資料編・・・・・・・・・・ 100

1. 事業推進年表	101
2. 挨拶	102
3. 来場者数・気温データ	105
4. 輸送花材リスト	107
5. 委員会・展示協力者・協力団体一覧	111
5- 1. 日本国出展委員会	
5- 2. 屋内出展	
5- 3. 屋外出展	
6. 行催事参加者一覧	113
7. 出展事業担当	115
7- 1. 屋内出展	
7- 2. 屋外出展	

■オープニングセレモニー



高鳥 農林水産副大臣挨拶



石月 日本国政府代表挨拶



長井 国土交通省官房審議官挨拶



テープカットセレモニー（左から、宮下都市緑化機構専務理事、枝元農林水産省生産局長、ベルナール・オウステロム国際園芸家協会会長、寺井全国花き振興協議会会長、石月日本国政府代表、高鳥農林水産副大臣、和田日本造園建設業協会会長、田中国際花と緑の博覧会記念協会専務理事、刈博覧会協会国際副部長、長井国土交通省大臣官房審議官）



日本展示館オープニング（銘板除幕）



日本庭園オープニング（鯉のぼり掲揚）



日本展示館内覧の様子



池坊による礼式生け



日本展示館を背景に記念撮影



日本庭園を背景に記念撮影

■ ジャパンデー・フェスティバルセレモニー



石月 日本国政府代表挨拶



鈴木 農林水産省大臣官房生産振興審議官挨拶



張 中国国際貿易促進委員会副会長挨拶



記念品贈呈（日本から中国へ）

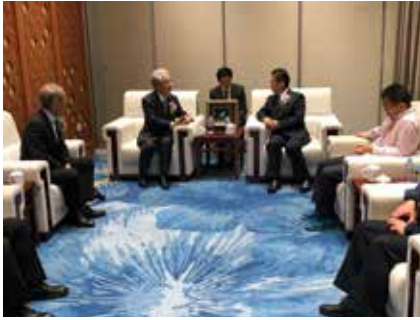


記念品贈呈（中国から日本へ）



2025 年大阪・関西万博プレゼンテーション
榎原大使

■ ジャパンデー「両国代表面談」



■ ジャパンデー「2025 年大阪・関西万博プレゼンテーション」



■ ジャパンデーアトラクション「花いけライブパフォーマンス」



和太鼓と演出映像にあわせて5名のアーティストがパフォーマンス



壱太郎による和太鼓



高さのある迫力ある作品

■ ジャパンデー「ビジネス意見交換会」



庭園を臨む会場にて開催



日中の逐次通訳にて実施



柴田座長



日本側メンバー



中国側メンバー

■ 博覧会会場視察



カートにて会場視察



事務局通訳スタッフが案内



記念撮影



石原和幸氏設計による庭園「桃源郷」(国際デザイナーズガーデン内)



北京市庭園



上海市庭園

■ ジャパンデー記念レセプション



日本国出展エリア（日本庭園と日本展示館）で開催



長井 国土交通省官房審議官挨拶



涌井 日本国出展委員会委員長挨拶



小川洋利先生によるすしコーナー



すしを楽しむ海外招待者の皆様



花いけライブパフォーマンス



レセプションの様子

■ ジャパンフェスティバル「花いけバトル」



日本と中国のアーティストによるバトルで盛り上がる



5分の制限時間で作品完成



審査は観客の皆様が行う

■ 2027 年横浜国際園芸博覧会プレゼンテーション



横山 横浜市議会議員挨拶



横浜クイズ

■ ジャパンフェスティバル「日本の縁日」



けん玉体験



ハッピー撮影体験



お花すくい



風船ヨーヨー釣り

■ ジャパンフェスティバル「庭園解説イベント」

主 催／2019年北京国際園芸博覧会 屋外出展実行委員会 開催日／9月13日～9月14日 会場／日本庭園



■ ジャパンフェスティバル（関連イベント）

北京国際園芸博覧会 開催記念シンポジウム

主 催／公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 開催日／9月14日 会場／清華大学建築学院ホール



■ クロージングセレモニー



原口 在中国日本国大使館参事官挨拶



古澤 国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長挨拶



焦 博覧会協会国際部長挨拶



日本国出展寄贈式



だるまの目入れ式



鯉のぼり降納式



記念撮影

■屋外展示（日本庭園）

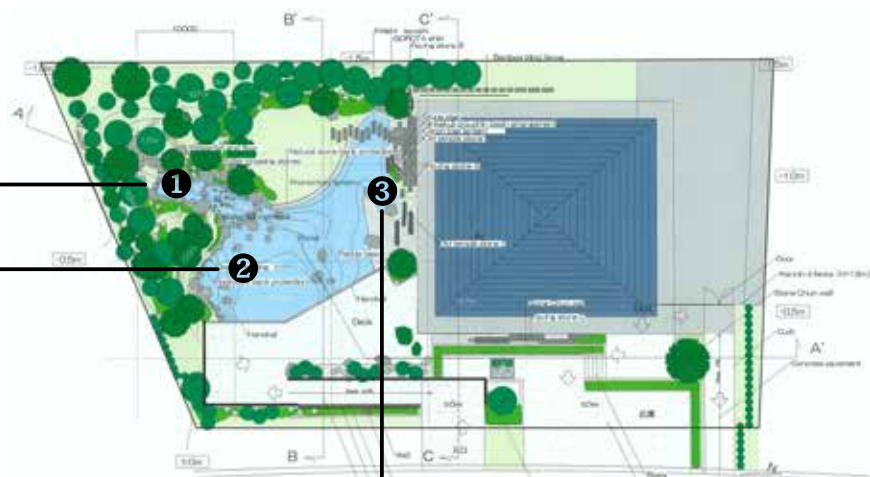
正面玄関 塗壁と園名板

日本国出展の正面を飾る塗壁と金閣寺垣を配置し、日本国出展の奥行きを表現した。



① 三段の滝と石組み

遠方の山々を借景として、深山に見立てた三段の滝の一景を現している。石は北京の近郊の石を利用した。



② 池と錦鯉

大海をイメージした池を配置し、池には長岡と小千谷市の錦鯉が泳いでいる。



③ 前庭

中国の石材と日本の竹などの素材を持ち込み、庭を造った。中国の古い石材も景物として配置した。





イベントスペース（芝生広場）

○庭園北側には、日本の伝統的な舞や技などを披露する芝地の広場を設け、両国の人的、経済的交流の一層の拡大につながる文化交流の場として日本の魅力を伝えた。

○水面に接する石積みは、日本伝統の自然石を用いた谷積みを施した。



水蛭灯籠と金閣寺垣



金閣寺垣と春日灯籠



州浜

○灯籠と竹垣

元来社寺の献灯として用いられており形など用途により形状は多岐にわたり、茶会の照明具として広く庭園に用いられるようになった。

日本庭園技術の代表的な施設として、金閣寺垣・建仁寺垣・御簾垣など、多くの竹による垣根を整備した。

○植栽

環境保全の観点から地域性材料を中心に中国在来種等で構成され、マツ・モミジ・ヤマボウシ等を主体に約 400 本と草本類を植栽した。そして、この工法は維持管理作業の軽減にもつながるという効果がある。

○池

京都御所の御池庭をモチーフに州浜を強調した池とした。滝口の豪快な石組みから大海のやさしさを表現した。



鯉のぼりと坪庭

■日本展示館展示「メイン展示スタンド」

華道家元池坊 ※政府展示

4月29日～5月10日

テーマ： 深淵 ／ 制作： 池坊中央研修学院 特命教授 三浦友馨



全国輸出拡大協議会

5月11日～5月24日

テーマ： 春の訪れを告げる日本の花



株式会社サカタのタネ

5月25日～6月7日

テーマ： 花は心の栄養



静岡県

6月8日～6月21日

テーマ： ふじのくに花の都しずおか



プリザービングフラワーズ協会

6月22日～7月5日

テーマ： 和



長野県

7月6日～7月19日

テーマ： 天空の花畑



福島県・一般社団法人日本生花商協会

7月20日～8月2日

テーマ： 震災からの復興～花で彩るふくしまの今～



一般社団法人日本花卉文化協会

8月3日～8月16日

テーマ： 盆栽美学



株式会社ミヨシ

8月17日～8月30日

テーマ： MYSTERIOUS JAPAN BLUE



一般社団法人 J F T D ※政府展示

8月31日～9月13日

テーマ： おもてなし ／ 制作： 中山 佳巳



北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会 9月14日～9月27日

テーマ： 花鳥風月



公益社団法人日本フラワーデザイナー協会 ※政府展示

9月28日～10月7日

テーマ： 千紫万紅 / 制作： NFD 花ファッションデザインチーム



■ボランティア参加催事

静岡県地域外交局地域外交課（展示）

6月8日～14日



マナコフラワーアカデミー（デモンストレーション） 6月15日～17日



有限会社ニュー花矢（ワークショップ） 6月24日



一般社団法人小原流（デモンストレーション） 7月6日



■日本展示館展示「いけばな展示スタンド」

華道家元池坊

4月29日～7月5日

テーマ： 夜静溪聲近 ／ 作 者： 三浦 篤正 講師



■日本展示館展示「いけばな展示スタンド」

一般財団法人小原流

7月6日～8月30日

テーマ： 深山溪谷 ／ 作者： 莊加 ひとみ 講師



■日本展示館展示「いけばな展示スタンド」

一般財団法人草月会

8月31日～10月7日

テーマ： 万花一葉 / 作者： 中村 草山 師範



■日本展示館展示「盆栽展示スタンド」



■祝「令和」展示



■日本展示館展示「フラワーアレンジメントスタンド」

制作・監修：公益社団法人日本フラワーデザイナー協会

テーマ：日本の四季の花

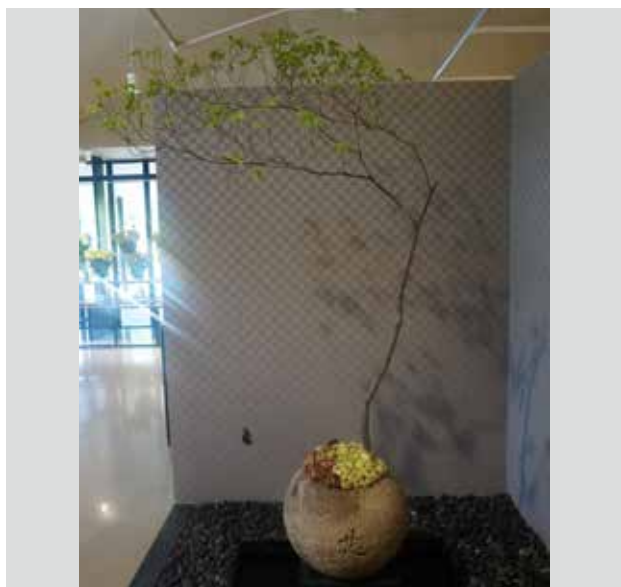




■日本展示館展示「花き展示スタンド」



■日本展示館展示「花き専門スタッフ作品」





■花き専門スタッフワークショップ
七タイイベント（7月6日～7月8日）



いけばな体験ワークショップ（8月15日）



フラワーアレンジメント体験（8月21日）



■ AIPH 国際ガーデンコンテスト

表彰式（ハイアット・リージェンシー北京世園）



左から3人目、農林水産省生産局花き産業・施設園芸振興室 野口室長



国際庭園大賞トロフィー・賞状



AIPH による中間審査風景



AIPH による最終審査風景



■コンテスト出品花き／コンテスト結果



品目名：キク
品種名：舞夢黄（かがり弁黄）
出品者名：北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会



品目名：コチョウラン
品種名：ソーゴマンタ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：キク
品種名：舞夢白（かがり弁白）
出品者名：北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会



品目名：ヤマモミジ
出品者名：田畑好信



品目名：コチョウラン
品種名：桜姫
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピंकアポロ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピंकパンダ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピंकパン
出品者名：日本洋蘭生産協会



表彰式の様子（マルチファンクションビル）



コンテスト出品準備（国際館）

2019 年北京國際園芸博覽會

第 1 章 博覽會概要

1. 開催概要

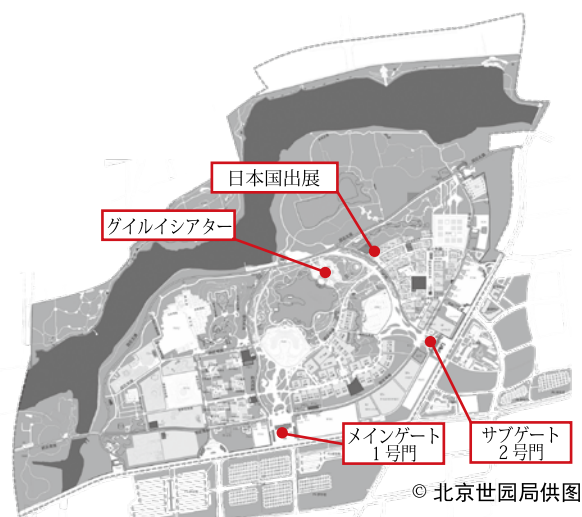


正式名称	International Horticultural Exhibition 2019, Beijing, China 2019年北京国際園芸博覧会
種 類	国際園芸家協会による A1 クラス認定 国際博覧会条約に基づく認定博覧会
開催期間	2019年4月29日（月）～10月7日（月）※162日間
開催時間	8:00～21:00（最終入場は18:30、7月23日より20:00に変更）
開催場所	中華人民共和国北京市延慶区 （北京都心から北西に74K m、万里の長城近郊）
開催規模	入場者数目標：1,600万人 実績： 934万人
参加国	110カ国・機関
会場規模	約960ヘクタール（大阪花博のおよそ7倍） 展示面積503ヘクタール
テーマ	緑色生活 美麗家園（Live Green, Live Better） （緑の生活 より良い生活）



2. 会場図・施設

博覧会場は、中国園芸展示ゾーン、国際園芸展示ゾーン、園芸生活体験ゾーン、教育と将来の展示ゾーン、自然生態学ゾーンで構成されている。主な施設としては、中国館、国際館、植物館、生活体験館などがある。イベントなどはグイルイシアターの舞台などで実施された。



中国館



国際館



植物館



生活体験館

© 北京世園局供图



グイルイシアター



自然生態学ゾーン

© 北京世園局供图

3. 日本国出展概要

「庭屋一如」の空間づくり

日本政府の展示は、中央に池を配置した日本庭園と軒が深く大きな屋根に覆われた和風建築で構成され、その中で日本の四季の花が咲き誇る。

日本国出展は、国際ガーデンゾーンに 2,550㎡の区画を利用して整備した。今回の出展は、日本庭園と屋内展示がつながる「庭屋一如」の考え方にに基づき整備した。

面積内訳は、日本庭園 1,062㎡、日本展示館 630㎡、広場・園路 458㎡、バックヤード 400㎡であった。



4. 各国・地域の出展

国際ガーデンゾーンの主な国・地域の展示については下記の通り。



英国



カタール



ドイツ



シンガポール



トルコ



オランダ



インド



タイ



北京市庭園



上海市庭園



浙江省庭園



四川省庭園



石原和幸氏設計による庭園（国際デザイナーズガーデン内）



展望台周辺



野菜ガーデン



自然生態学ゾーン

© 北京世園局供图

5. ナショナルデー

ナショナルデーは、公式参加国・地域に対し、開催期間中に1日設定される日で、日本に対して設定されるナショナルデーを「ジャパンデー」と呼ぶ。ジャパンデーは9月12日に実施され、博覧会協会と共に記念式典を行った。

ナショナルデー基本プログラム

1. ご来場おもてなし（VIPルーム）
2. サインブックに記帳（VIPルーム）
3. セレモニー（グイリイシアター他）
 - ・国旗掲揚
 - ・公式参加国・地域代表挨拶
 - ・中国政府代表歓迎挨拶
 - ・参加国による文化プログラムの披露
4. 会場内視察案内



トルコナショナルデー



カタールナショナルデー

【ナショナルデー開催一覧】

No.	開催日	国名
1	5月13日	ドイツ
2	5月15日	チャド
3	5月25日	韓国
4	5月26日	アゼルバイジャン
5	5月29日	シリア
6	5月31日	ブルンジ
7	6月7日	中国
8	6月15日	パレスチナ
9	6月16日	オランダ
10	6月21日	フランス
11	6月22日	ウガンダ
12	6月27日	ジブチ
13	7月1日	ガーナ
14	7月2日	オーストラリア
15	7月3日	トルコ
16		マラウイ
17	7月5日	マダガスカル
18	7月10日	モリタニア
19	7月16日	ドミニカ
20	7月21日	マリ
21	7月27日	コンゴ民主
22	7月28日	タイ
23	7月30日	バヌアツ
24	8月1日	ベナン
25	8月2日	ルワンダ
26	8月4日	ミャンマー
27	8月13日	中央アフリカ
28	8月14日	パキスタン
29	8月18日	ウルグアイ
30	8月19日	アフガニスタン
31	8月20日	タジキスタン
32	8月23日	トーゴ
33	8月28日	ジンバブエ
34	8月31日	カンボジア
35	9月2日	カタール
36	9月3日	ケニア
37	9月5日	モルドヴァ
38	9月6日	エチオピア
39	9月7日	サモア
40	9月9日	北朝鮮
41	9月10日	ベルギー
42	9月11日	ミクロネシア
43	9月12日	日本
44	9月13日	UAE
45	9月14日	パチカン
46	9月15日	グアテマラ
47	9月16日	パプアニューギニア
48	9月17日	英国
49	9月18日	ギニア
50	9月20日	バングラディシュ
51	9月21日	アルメニア
52	9月26日	イエメン
53	9月27日	フィジー
54	9月28日	シエラレオネ
55		チェコ

※博覧会協会提供

2019 年北京國際園芸博覽會

第 2 章 出展業務

1. 日本国出展経緯

2019 中国北京国際園芸博覧会は、中国では 20 年ぶりに開催される A1 クラスの園芸博覧会で（前回は 1999 年雲南省昆明で開催）、中華人民共和国の建国 70 周年に当たる年であることから、中国政府としても総代表 汪洋國務院副総理、実行委員会委員長 蔡奇北京市党書記（前北京市長）という体制をとっており、国家としても大変重視しているイベントであった。

2016 年 7 月、中国の李克強首相から安倍首相あて招請状が発出され、これを受ける形で農林水産省と国土交通省で検討を開始した。前回のアンタルヤ園芸博等過去の国際園芸博覧会では農林水産省が国際館等における屋内出展を、国土交通省が日本庭園の屋外出展を行ってきたが、日本国政府出展が 2 つの場所に分散されることによるデメリットがあった。アンタルヤ園芸博終了後、この反省を踏まえ北京国際園芸博覧会は検討当初から農林水産省、国土交通省が一体となって出展をするべく調整を進め、2017 年 9 月の現地調査において博覧会事務局との調整の結果、日本国出展区画として一般の参加国の倍以上の面積である 2550㎡を確保した。

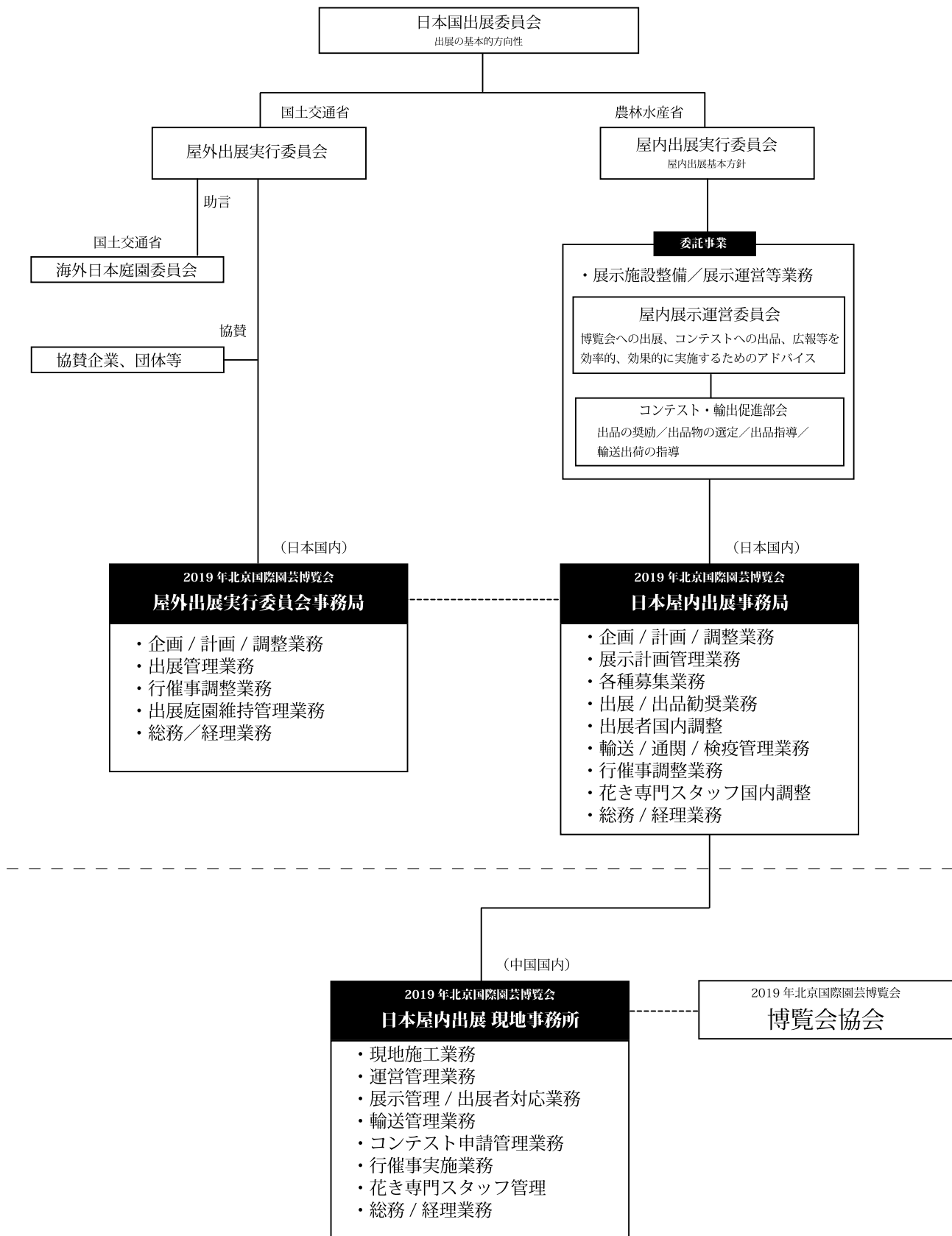
その上で、2018 年 2 月に農林水産省、国土交通省合同で日本国出展委員会（委員長：涌井史郎東京都市大学特別教授）を設置し全体のコンセプトやテーマ、ゾーニングを定め、これに基づき農林水産省の屋内出展実行委員会、また国土交通省の屋外出展委員会をこれまでの博覧会と同様に設置することとし、一体として検討を行った。

2. 事務局推進体制

過去の国際園芸博覧会の業務実績を持つスタッフを配置した事務局体制を構築した。事務局は日本国内に設置した日本屋内出展事務局（以下、国内事務局）と中国国内に設置した日本屋内出展現地事務所（以下、現地事務所）で構成され、常に連携を保ち、事業推進に努めた。

開幕前から国内外の関係者との定期的なミーティングを重ね、事業計画の策定や事業の進捗状況の確認、課題の解決方法などを共有しすすめた。事務局の推進体制は次頁の通りである。

(推進体制図)



3. 日本国出展の基本的方向性 (日本国出展委員会)

■基本的コンセプト

日本の花きと花き文化を展示する屋内展示及び日本庭園等の屋外展示が調和のとれた一体となった展示として、「庭屋一如」の考え方のもとに多様で奥行きのある日本の園芸文化とライフスタイルの今を伝える。

日本人の自然に対する畏敬と感謝の思いによって育まれてきた世界に誇る造園及び花き園芸文化は、安らぎだけではなく、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に対しても自然環境の積極的な利用を通じて一層の貢献の可能性があることから、現在の日本の環境技術やライフスタイルとあわせ来訪者に伝える。

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2022年北京冬季オリンピックが予定されている中で、両国の交流の一層の拡大につながるよう日本の魅力を伝える。

■出展テーマ

Japanese Green Lifestyle

自然に関する畏敬の念と、自然に対する感謝の念をあわせもった日本人の自然観をふまえて、伝統的な園芸技術、花文化や日本庭園技法と最先端の環境技術を融合させた、日本の成熟したライフスタイルを表現する。

■ゾーニング

出展区画は、次のゾーンで構成する。

- 1) 屋外展示として、日本の伝統的な造園技術を駆使し、水辺空間を備えた様式による庭園
- 2) 屋内展示として、日本庭園と調和した花き園芸技術を展示する和風建築物及びそれと一体となった坪庭空間

- 3) 日本文化を伝える行催事の会場となる空間
- 4) 日本国出展に賛同した企業で、園芸博覧会のテーマに関連した商業活動を行う企業のPRの場となる空間

庭屋一如の説明パネル



書：矢部澄翔

(説明文)

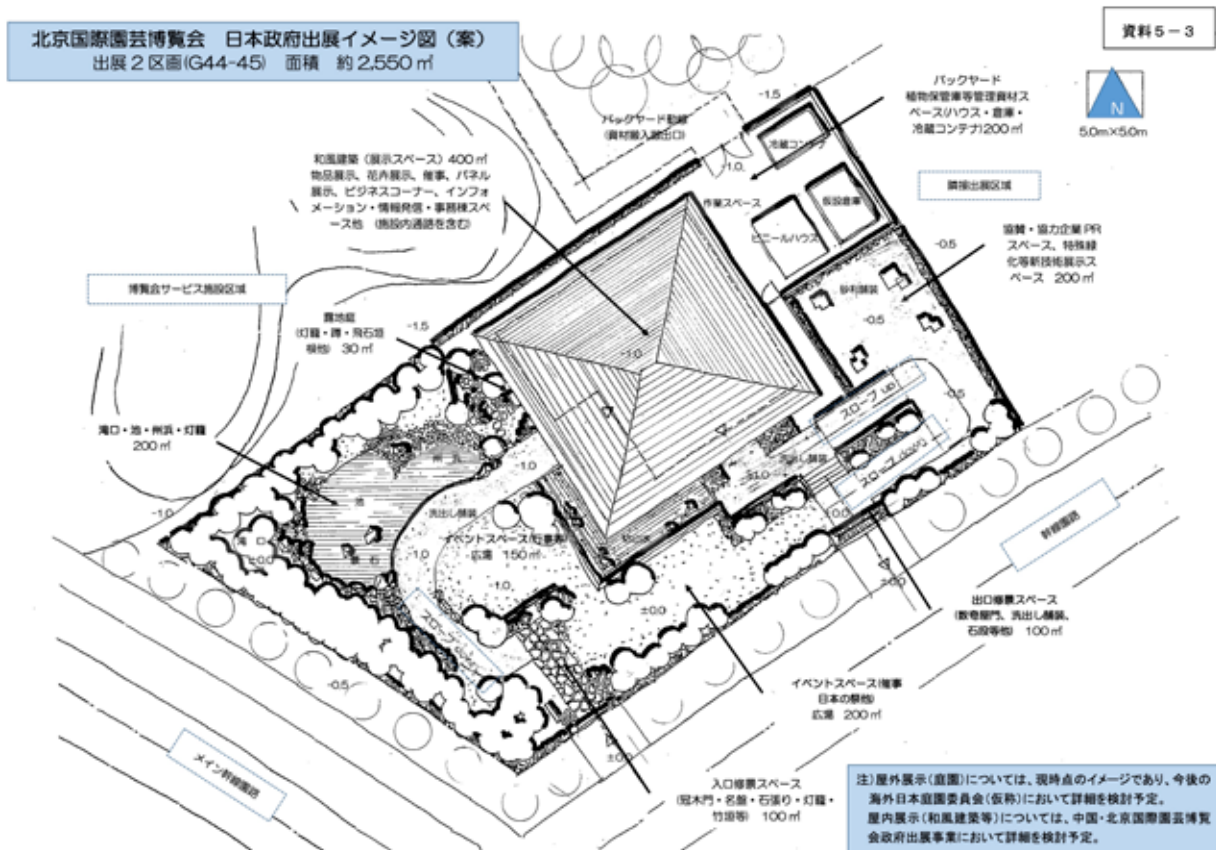
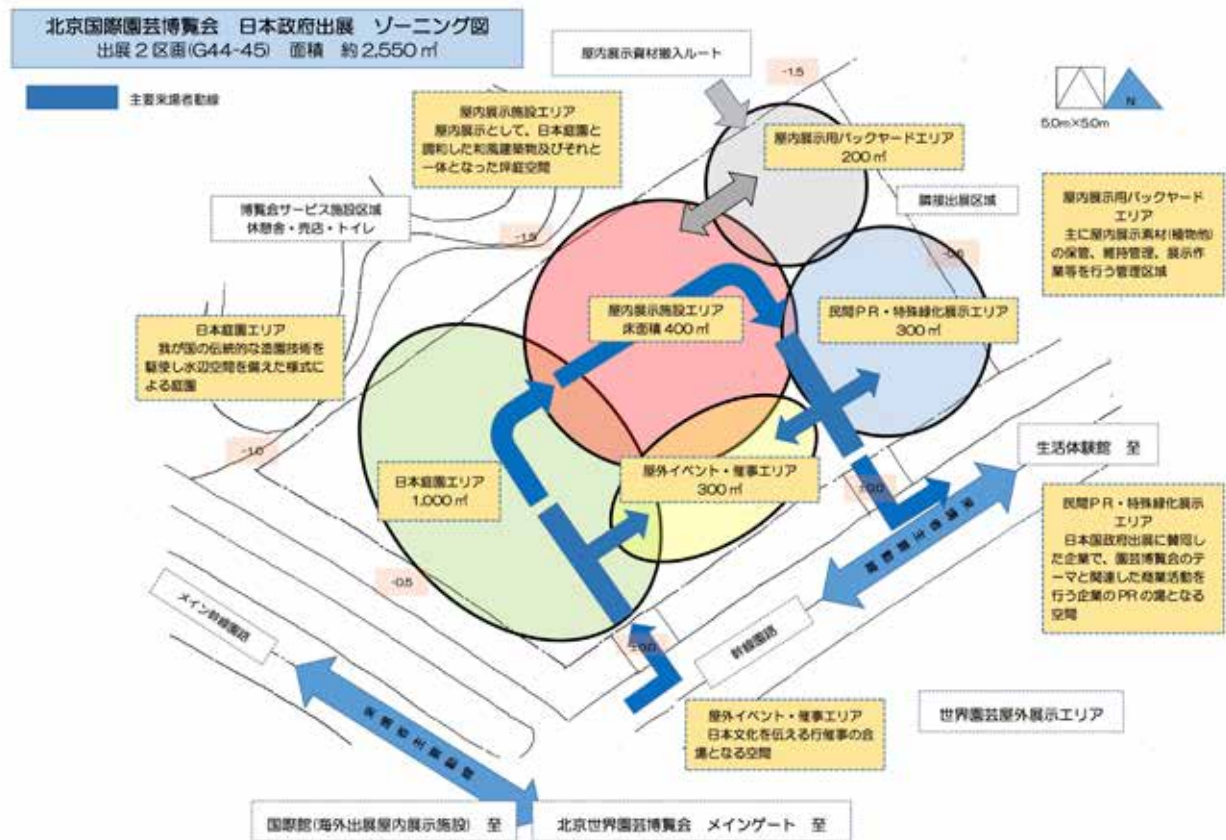
日本の展示では、日本庭園と日本展示館での花の展示によって、多様で奥行きのある日本の園芸文化とライフスタイルの今を伝えます。

日本庭園の伝統と日本の花文化は、日本人の自然に対する畏敬の念と感謝の思いによって育まれてきました。

この多様で奥行きのある園芸文化を、伝統的な日本庭園、それを眺めることのできる和風の日本展示館、そしてそこで展示される季節感あふれる美しい花の展示が一体となって伝統と新しい技術を融合した「庭屋一如」の形で表現します。



■第1回日本国出展委員会資料(2018年2月5日)



4. 出展基本方針

4-1. 屋内出展基本方針

■北京園芸博覧会の概要

北京園芸博覧会は、平成 31 年（2019 年）4 月 29 日から 10 月 7 日までの 162 日間、「緑の生活、より良い生活（Live Green, Live Better）」をテーマに中国北京市郊外で開催される。約 100 か国・機関の参加と約 1,600 万人の入場者（うち 20% は海外から）が見込まれている。

我が国は、博覧会会場の世界園芸展示区の中にある 2,550m² の区画で屋内展示と屋外展示（日本庭園）を調和のとれた一体となるよう行うこととしている。

■日本の花きをめぐる状況

（1）多様で高品質な花き

我が国の多様で高品質な花きは、これまでの国際園芸博覧会のコンテストで多くの賞を受賞するなど国際的に高い評価を得ている。

また、四季のはっきりした自然に対する畏敬の念と感謝の気持ちをあわせ持つ日本人の自然観は、生け花や盆栽、門松等の世界に誇る豊かな花きの文化を育んできた。

（2）花き産業

我が国の花き産業は、農業の担い手の確保を図る上で重要な地位を占めるとともに、花きに関する伝統と文化は国民の生活に深く浸透し、国民の心豊かな生活の実現に重要な役割を担っている。「花きの振興に関する法律」（平成 26 年法律第 102 号）は、花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針の策定とともに、輸出の促進、博覧会への出展等に対する支援について規定している。

農林水産業の輸出力強化戦略の一環として、平成 31 年（2019 年）の花き輸出額 150 億円

を目標として取り組んでいる。こうした中、博覧会に日本の多様で高品質な花きを展示し、輸出促進につなげようとするものである。

■出展の基本的考え方

我が国の多様で高品質な花き、そして奥行きのある花き文化を中国をはじめ世界に向けて発信することで以下の実現を図る。

（1）輸出拡大と産業振興

国産花きの輸出拡大と我が国花き産業の振興を図るため、花き関係団体や関係省庁等と連携を図って取り組む。

（2）日本への関心に応える

外国から日本への訪問客に関しては中国からが最も多く、さらに、訪れたい国の一位となるなど日本に対する関心は高い。より多くの来場者を達成するためには、今の日本の生活の様々な場面を演出している日本の花きと花き文化を表現する。

（3）被災地復興支援への感謝

東日本大震災の被災地で生産された花きの展示や現地での花育の様子などを伝えることにより、被災地の復興と支援に対する感謝を示す。

■屋内出展のテーマ

開催主体と来場者に我が国のメッセージを伝える屋内出展のテーマは、次の視点から検討する。

ア) 博覧会テーマである「緑の生活、より良い生活（Live Green, Live Better）」、日本庭園を含む日本政府出展のテーマ「Japanese Green Lifestyle」との関係性

イ) 我が国の花き産業・花きの文化の特徴や魅力が表現されるとともに、入場者を引きつける力

ウ) その他に考慮すべき視点の例

- 日本の生活の様々な場面を演出している花きの多様性

- 環境に優しく持続的な園芸技術

- 花や緑に親しみ、情操を育む「花育」

■展示・催事等の内容と方法

（１）展示

- ・日本の豊かな四季を活かした展示とする。
- ・企画展示（地方公共団体、園芸関連団体、民間企業等が参加）ではそれぞれの特色を活かした展示とするとともに、屋内展示全体では屋内出展のテーマの下で統一感のある展示とする。
- ・実物や写真、映像等の様々な媒体の活用、「発見」と「体験」、花き以外の我が国の文化と関連づけた演出等により来場者の記憶に残る工夫を行う。
- ・展示花きの品質管理などのため専門スタッフを配置する。
- ・展示品の知的財産権に配慮する。

（２）商業的活動

中国におけるビジネス展開の参考となる取り組みを行う。

- ・商業スペースの確保とキャッシュレス決済の導入
- ・商談スペースの確保や受付で収集したバイヤー情報等の出展者への還元
- ・我が国と中国の花き業界の関係強化とビジネス拡大を目的とする意見交換会の開催

（３）催事

- ・開会式、閉会式、ナショナルデーでは、生け花、茶道などにより日本の花き文化を演出することで、来場者の記憶に残る工夫を検討する。
- ・両国の花きと花き文化についての意見交換、日本の伝統的な花き等の文化を広く紹介するプログラムを実施する。
- ・現地の日本人コミュニティにボランティア参加などの協力を求める。

■広報、啓発活動

雑誌などの紙媒体、ウェブサイト、SNS 等の双方向メディアなど多様な媒体を活用して日本の出展、日本の花き・花き文化を広く PR する。

（１）会期前

出展者の地元を含む国内向け広報とともに、中国語と英語での広報を実施する。

（２）会期中

日本の展示・催事の様子、現地でのトピックス、品種コンテストの結果等を積極的に広報する。

インフォメーションカウンターの設置、専門スタッフの配置により積極的な情報提供を行う。

（３）会期後

コンテスト受賞品種等を広報する。

■花き業界の活性化と若手の育成

我が国から近く、我が国の花きの輸出額の半分を占める中国での開催であり、花きの育種、生産、流通、販売、文化等の各分野が企画展示、品種コンテストや催事への参加、専門スタッフの派遣などの様々な形で協力することで、花き業界全体の国際化と振興につなげる。

また、将来の花き業界を担う若手の育成と交流の場を提供する。

（平成 30 年 9 月 10 日公表）

4-2. 屋外出展基本方針

日本国出展では、Japanese Green Lifestyleという出展テーマのもと、自然に関する畏敬の念と、自然に対する感謝の念をあわせもった日本人の自然観をふまえつつ、伝統的な園芸技術、花文化や日本庭園技法と最先端の環境技術を融合させた、日本の成熟したライフスタイルを、日本庭園、並びに日本展示館とそこでの展示が一体となって、すなわち「庭屋一如」のコンセプトのもとで伝統と新しい技術が融合した日本の園芸文化により表現することとした。

日本国出展の入口では、地元の薄い石を利用して日本の庭師が石組みを施し、その上に金閣寺垣や春日灯籠を設け、日本国出展の存在を印象づけている。中に入ると日本庭園が広がっている。この日本庭園は中央に池を配置する「池泉式」の様式と、遠方の山並みを取り込む「借景」という庭園技法を用い、深山幽谷から流れ出た水が三段の滝を経て海を見立てた池へと注ぐ自然風景を表現している。庭園東側には、日本展示館を茶室と見立てて石灯籠や蹲を配置し、日本のおもてなし文化の一つとなる「露地」を設けた。

特に地元で調達した「白石」と「建物の定礎石」を材料とすることで地元への尊敬の念を表現している。池には、ごろた石を敷き詰め、水際を意識させない作りとし、長岡市の協力の下、錦鯉の発祥の地である長岡・小千谷から送られた錦鯉38匹が放たれた。なお、日本庭園と建物は博覧会終了後寄附をして保存されることから、寒冷な当地の気候を考慮し、冬に水を抜いても鑑賞できるデザインとした。

■基本方針

(1) 屋外展示

日本庭園は、中央に池を配置する「池泉（ちせん）式」の様式と、遠方の山並みを取り込む「借

景」という古来からの庭園技法を用い、深山幽谷から流れ出た水が三段の滝を経て池へと注ぐ自然風景を、石組みや植栽などの伝統的造園技術を駆使して表現とする。庭園東側には、日本展示館を茶室と見立てて石灯籠や蹲を配置し、日本のおもてなし文化の一つとなる「露地」を設ける。

(2) 管理運営体制

日本国出展エリアに、庭園整備・維持管理事業者及び屋内出展担当事業者で構成する現地事務所を設置し、博覧会事務局との連絡調整や、展示運営、接遇対応等を実施する。また、日本庭園の技術を紹介する催事を実施する。

(3) 維持管理計画

日々の巡視、清掃等の実施により、清潔かつ安全な展示状態を維持するとともに、樹木等の枯損や施設の破損等の早急な発見に努める。日本庭園の利用に支障が生じるような場合は、庭園維持管理事業者により適切な処置を講じることとする。樹木等の管理（枯損木の除去・花きの入れ替え等）及び施設補修等を適宜実施することで、良好な展示状態を維持する。

(4) 安全管理計画

日本国出展エリアには、会期中、約1,600万人の来訪者により相当の混雑があるものと見込まれている。また、記念撮影などによる滞留にも配慮する必要がある。このため、屋外・屋内展示を円滑に鑑賞できるよう、来訪者の入込状況に応じて、展示鑑賞に混乱が生じないよう、適切な整理・誘導、並びに、支障のない範囲で、立ち入り禁止区域設置等の規制措置を図る。

(5) 寄贈

中国政府側に寄贈を行う際、博覧会後も持続的な維持管理がなされるよう、維持管理マニュアルを作成するとともに、必要に応じて庭園の補修を行った上で寄贈を行う。

5. 屋内出展展示スケジュール

いけばな展示スタンドは、華道家元池坊、いけばな小原流、いけばな草月流に依頼し、フラワーアレンジメントスタンドは、日本フラワーデザイナー協会に依頼した。また、メイン展示スタンドは、政府展示期間は池坊華道会、JFTD、日本フラワーデザイナー協会へ依頼し、その他一般展示期間は応募いただいた出展者と調整を行い、下記展示スケジュールを策定した。

日程		日本展示館 展示テーマ	いけばな展示 スタンド	メイン展示スタンド	フラワーアレンジ メントスタンド
4月29日 ～ 5月10日	12日間	春の彩り	華道家元池坊	華道家元池坊 ※政府展示	公益社団法人 日本フラワーデザイナー協会
5月11日 ～ 5月24日	2週間			全国花き輸出拡大協議会	
5月25日 ～ 6月7日	2週間			株式会社サカタのタネ	
6月8日 ～ 6月21日	2週間			静岡県	
6月22日 ～ 7月5日	2週間			プリザービングフラワーズ協会	
7月6日 ～ 7月19日	2週間	夏の祭り	一般財団法人 小原流	長野県	
7月20日 ～ 8月2日	2週間			福島県／一般社団法人日本生花商協会	
8月3日 ～ 8月16日	2週間			一般社団法人日本花卉文化協会	
8月17日 ～ 8月30日	2週間			株式会社ミヨシ	
8月31日 ～ 9月13日	2週間	秋の実り	一般財団法人 草月会	一般社団法人JFTD ※政府展示	
9月14日 ～ 9月27日	2週間			北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会	
9月28日 ～ 10月7日	10日間			公益社団法人日本フラワーデザイナー協会 ※政府展示	

ボランティア催事参加団体一覧

日程	期間	団体名	実施内容
6月8日 ～ 6月14日	7日間	静岡県地域外交局地域外交課	展示
6月15日 ～ 6月17日	3日間	マナコフラワーアカデミー	デモンストレーション
6月24日	1日間	有限会社ニュー花矢	ワークショップ
7月6日	1日間	一般財団法人小原流	デモンストレーション

6. 屋内出展募集業務

日本の花き業界に対し、本事業の情報発信とともに出展勧奨業務を行った。

6- 1. メイン展示スタンド

地方公共団体や花き等園芸関係団体、企業等に対し特色を活かした展示を募集した。

出展者は、屋内出展テーマと各団体の出展内容との整合性や他の展示とのつながりを考慮し、決定された。

〔募集期間〕平成30年8月10日～平成30年11月16日

出展開始の3ヵ月前までに、出展が決定した団体、企業等から具体的な展示プラン（デザイン、設計図面、使用する花材等）が分かる書面を国内事務局へ提出いただき、事前協議を行った。

6- 2. コンテスト出品花き

対象花きは、基本的に日本産花き（切り花、鉢物・苗物、球根植物、植木類、盆栽、山野草等）とし、国際的にも一定の評価を得る可能性が高いもので、博覧会協会が提示するコンテストカテゴリーに合致するものとした。

6- 3. 輸出促進PR用花き

政府展示の場を活用して輸出促進のためのPRを希望される生産者や団体、育種家の方々にに対し、日本で生産または育種された輸出促進PR用出品花きの募集を行った。

〔募集期間〕平成30年12月17日～平成31年3月31日

対象花きは、切り花、鉢物・苗物、植木類、盆栽とした。

6- 4. ボランティア催事参加者

来場者に日本の園芸文化や伝統文化を体験し楽しんでもらうため、花にまつわる日本の文化紹介や催事を自己負担で企画・実施いただける個人・各種団体等を募集した。

〔募集期間〕2018年1月25日～

6- 5. 花き専門スタッフ（募集と研修）

展示会場の運営及び花きの管理、賓客／来場者の接遇等を円滑かつ適切に行うため、花きに関する知識、技術を有する花き専門スタッフを募集した。

■業務内容：展示物の日常の管理、賓客及び一般来場者への接遇（花きの準備、説明等）、ワークショップの実施、政府出展屋内展示に於ける日常の運営業務全般等

■資格：花きに関連する専門知識や業務経験を有し、上記の業務を行える方

■期間：約3ヶ月程度（前半：4月中旬～7月中旬、後半：7月中旬～10月中旬）

■人数：常時5名程度を配置（前半5名程度、後半5名程度）

■募集期間：平成30年10月5日～平成30年11月16日

■選考方法：1次審査書類選考、2次審査面接

選考の結果、前半5名、後半5名の花き専門スタッフを採用した。

花き専門スタッフについては、渡航前に国内事務局にて2月10日と11日に研修を行った。研修では、農林水産省担当官が博覧会出展の基本方針、基本計画等の説明を行ったほか、国内事務局により海外生活の心得（安全管理等）や業務研修、中国語の基本研修が行われた。

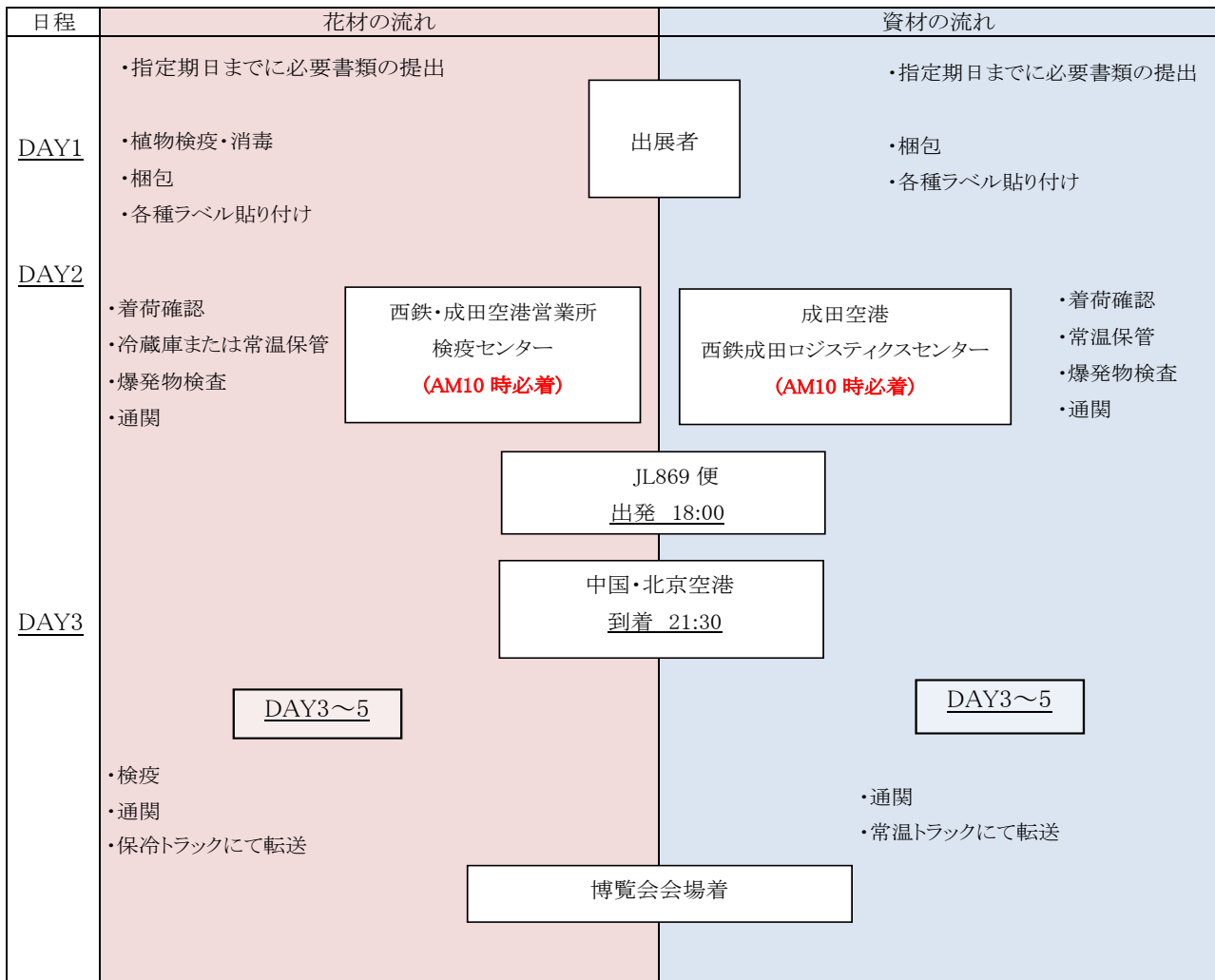
6- 6. 展示用資材協賛

政府展示に必要な展示用資材（花瓶などの花器、水揚げ剤、活力剤や花桶バケツ、装飾用のリボンやラッピング素材など）の協賛募集を行った。協賛メリットとして、屋内展示スペース内に企業名の掲出を行った。

7. 屋内出展輸送業務

7-1. 輸送フロー図

花材と資材の輸送フローについて、花材・資材とも日本から3～5日間のリードタイムでの輸送計画を行った。



7-2. 国内輸送計画

鮮度の高い花きを現地に届けるために、会場到着日やコンテスト開催日から逆算し、リードタイムの短い輸送を実現できるよう計画を行った。

出品者、出展者にもより確実な輸送をしていたため、輸送ルート、標準的なタイムスケジュール、植物の消毒・梱包、ステッカーの記入・貼付、出荷明細書の記入事項等についてまとめた輸送マニュアルを作成し配布を行った。また、輸出に必要な植物検疫やワシントン条約(CITES)等についてのアドバイスをを行うと共

に、西鉄が保有する成田の専用保税保冷库での出張検疫などと調整を行った。

国内の輸送については、東京都内の大手卸売市場（大田花き、フラワーオークションジャパン）の協力を得て、出品者、出展者は通常の市場出荷ルートを用いて大田市場まで輸送した。さらに、事前に出品予定花きをヒアリングし、調整することで、貨物のサイズを予測し、無駄のない効率的な輸送を実現した。

7- 3. 出荷手順

メイン展示スタンドの展示を行う地方公共団体や花き等園芸関係団体、民間企業等の出展者やコンテスト出品花き、輸出促進 PR 用出品花きなどの出品者に対して、花きの輸送についてのアドバイスをを行うため、コンテスト・輸出促進部会から意見をいただき、輸送に関するマニュアル「出荷手順マニュアル」を作成し、国内事務局より配布した。

出荷手順マニュアルには提出書類の作成方法や輸送ルート、リードタイム、梱包方法やラベルの貼り付け方、植物検疫相談、問い合わせ先などを記載した。特に切り花に関しては、日本から博覧会会場まで品質を保持したまま輸送できるように、採花後の前処理や予冷などの詳細、梱包内の結露対策及び水切れ防止方法なども記載した。鉢物については、栽培地検査の手順や消毒、品質保持のための梱包手順などを記載した。

- メイン展示スタンド出展者用
出荷手順マニュアル（花材・資材）
- コンテスト・輸出 PR 花材用
出荷手順マニュアル（切り花）
- コンテスト・輸出 PR 花材用
出荷手順マニュアル（鉢物）

7- 4. 通関・検疫

国際博覧会の展示物は一時輸入品として扱われる（原則、関税免除）のが通例であるが、開幕当初切り花が課税対象となっていたため、関税を支払って輸入を行った。資材については一時輸入品として輸入を行った。6月18日に北京市海関総署と協議を行い、切り花の輸入については一時輸入品として輸入することができることとなった。しかし、切り花を一時輸入品として扱うためには、日々のメンテナンス時に使用した本数、廃棄した本数の管理、輸入時の箱の

保管、指定された書類の作成等現場運営業務にかなりの負荷がかかる内容であったため、一時輸入品として扱うために掛る労力と関税を支払って輸入する場合のコストを勘案し、最終的には関税を支払って輸入するという判断に至った。結果、切り花を一時輸入品として輸入したのは1回だけとなった。

植物検疫は会場内の施設で行われた。切り花については検疫で稀に数本抜かれていたことがあったが、基本的には、箱が開けられていない状態で荷受けすることができた。根付きの植物については、システムでランダムに検疫対象を抽出しているとのことであった。検疫に掛る期間は、定められておらず、早いときは2、3日で日本展示館に届けられたが、コンテストに出品したコチョウランについては1週間以上時間がかかった。検疫が行われた3鉢については、3週間以上の時間がかかったの納品となった。

植物検疫が終わった花きは、シノトランスにより日本展示館まで配送された。また、鉢物植物にはQRコード付きのタグが付けられ、そのQRコードをスキャンするとその植物が適正に検査を受けたことが確認できるようになっていた。業務としては税関への催促、検疫済み花きの受取り、展示終了後の廃棄処分までの管理を行った。



7- 5. 荷受け

閉園後の21時30分以降に車両による搬入が行われた。オフィシャルフォワードであるシノトランスで運んだ荷物は比較的早い時間に日本展示館に到着したが、他の輸送会社での搬入は23時以降になるケースがあった。政府出展の荷物の検品は事務局スタッフ、花き専門スタッフがいき、出展者の荷物は各出展者が行った。期間を通して指定日に荷物が届かないことはなかったが、花材を運んでいるシノトランスの車両が保冷車両でないことがあったため注意を行い、以後必ず花材は保冷車で搬入されるようになった。



花きは荷受け後に記録写真の撮影を行ったのちに速やかに水揚げ作業を行い保冷コンテナに保管した。保冷コンテナに入りきれない花材については、24時間空調管理されている館内に保管した。資材は、使用するタイミングを考慮しコンテナ、ビニールハウス、館内に保管した。



7- 6. 花材・資材の廃棄処分

花材・資材の廃棄処分は、シノトランス社に随時廃棄の可否の確認をして実施した。関税を支払った花材は断裁した後に廃棄物処理業者を手配して処分を行った。一時輸入品として輸入した花きは税関立会いのもと内容を確認し、十分に断裁を行った後に廃棄物処理業者を手配し処分を行った。



資材は一時輸入品扱いとなっていたため、シノトランス社に確認し消耗品として扱われるもののみ廃棄物処理業者を手配し処分を行った。消耗品として扱われない物については、コンテナやビニールハウスにて処分の許可が出るまで保管し、最終的には寄贈することとした。開幕当初、ごみについては園内に設置してあるゴミ箱横に置いておくと博覧会のゴミ処理スタッフにより回収してもらえたが、オフィスのゴミ以外は途中で回収してもらえなくなり、定期的に廃棄物処理業者を有料で手配することとなった。

8. 日本展示館及びバックヤード、 屋外庭園

8- 1. 屋内出展概要

展示施設として屋内に広い空間が必要となることから、鉄骨構造を採用し、幅 10m、奥行き 20m の無柱空間を設計した。また、シャープに伸びる大型庇と大開口の連窓サッシは鉄骨構造で実現した。

展示空間は最大 4.5m の天井高を確保し、庭園と繋がる半屋外空間の天井高は 3m とし、庭園との一体感が得られるヒューマンスケールな空間を設計。館内は冷房空調を整備し、切り花展示のため、約 20℃程度の温度管理が可能に。また、軒の深い大屋根を設けることで、夏の強い日差しや西日、春先の黄砂等の厳しい自然環境から展示施設を保護し、展示花きに直接日光が当たることなく展示することができた。



8- 2. 屋内出展施工スケジュール

開催地の北京市延慶区は冬季に 1m の凍土となることを踏まえ、日本庭園造園施工業者と調整を行いスケジュールを策定した。

2018 年 7 月	基礎工事
2018 年 8 月	床スラブ、鉄骨建方工事
2018 年 9 ～ 10 月	外装・サッシ・屋根工事
2018 年 11 ～ 12 月	内装設備工事
2018 年 11 月	中間検査
2019 年 1 月	最終検査・引渡



8- 3. 事務所

日本展示館内に現地事務所用として約 50㎡のオフィススペースを確保した。常時約 10 名のスタッフ、出展者なども利用するため、事務デスクや会議スペース、ロッカー、ラック、冷蔵庫、給排水などの設備を設置した。



8- 4. ビニールハウス

コンテスト出品用花き、展示用花きを養生するため、バックヤードにビニールハウス1棟を設置した。通気性を考慮して、両サイドのシートが開口出来るものを選定した。また、ハウス内の温度上昇を抑える効果や直射日光を遮光するため、メッシュシートを張るなどの改造をした。

(サイズ：横6 m、縦10 m、高さ3 m)



8- 5. コンテナ

コンテスト出品用切り花、展示用切り花を保管するための保冷コンテナ(20 フィート)1基、また各種備品を収納するための資材用コンテナ(20 フィート)2基をバックヤードに設置した。夜間はコンテナ入口を施錠して盗難防止対策を行った。



8-6. 日本庭園整備

日本国出展 外構整備工事工程表(2018年7月～2019年4月)

項目	2018年(平成30年)								2019年(平成30年)				備考
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
準備工		6月工事着手										4月20日竣工	
基盤整備工													
植栽・修景工													
高中木													
修景植栽													
修景施設工													
施設整備工													
池・石組み													
園路広場工													
設備工													
給水・循環設備工													
雨水排水設備工													
電気設備工													

2017年11月

2018年6月～11月

2018年2月～4月

4月20日

測量・現地調達資材調査

第1期庭園整備工事（造成及び滝組、池、園路広場、高木植栽等基盤整備）

第2期庭園整備工事（灌木類等植栽、竹垣整備仕上げ作業）

竣工

日本庭園・工事進捗状況 前期工事終了

(2018年11月27日時点)



2018年5月下旬



2018年11月下旬



2018年9月上旬



2018年10月下旬



2018年5月下旬



2018年11月下旬



2018年9月上旬



2018年10月下旬

日本庭園竣工状況（2019年4月20日）



アプローチ園路修景



庭園（三段の滝と池）



池・州浜・アプローチ



アプローチと日本展示館

9. 屋内展示施工

日本庭園と建物の一体化により、自然を生活の中に取り込みながら育まれた日本の花き文化を効果的に演出する。庭園を背景にしたビスタ・アイストップを活用し、様々な視点場において日本の生活をイメージ出来る空間を設計した。

9- 1. 施工スケジュール

2019年2月の着工を目指し、設計、資材調達、現地工場での事前制作、日本からの資材輸送、現地施工のスケジュールを策定した。

2018年7月	基本設計
2018年8～9月	実施設計
2018年10～11月	現地資材調達調査
2019年2～3月	現地施工
2019年4月上旬	和室施工 (菊地合板木工(株)協賛)
2019年4月	検査・引渡

9- 2. メイン展示、いけばな展示等

メイン展示スタンド (約 40㎡)

花きの装飾展示を中心に展開し、農林水産物や観光など出展者のPRなど幅広く活用する場所として計画。政府出展テーマ展示や地方自治体、企業団体等が出展した。



いけばな展示スタンド (10㎡)

日本いけばな芸術協会の協力により、いけばなの魅力を会期期間中を通じて伝える場所として展示を行った。

今回、日本の化粧貼り集成材を使用した和室を、菊地合板木工(株)の協賛により設置した。



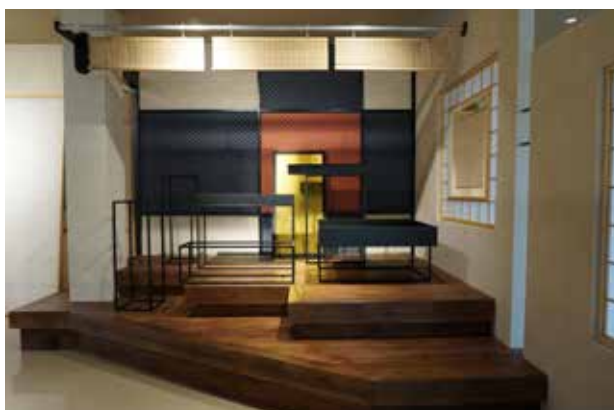
盆栽展示スタンド (約 10㎡)

盆栽に関する情報をまとめて紹介するコーナー。既に日本から中国へ輸出していた盆栽を展示するとともに、大宮盆栽美術館の盆栽に関する資料映像などを紹介した。



フラワーアレンジメントスタンド (約 10㎡)

日本フラワーデザイナー協会の協力により、日本から出品されたコンテスト花きや輸出促進PRの重点品目などを活用した日本のフラワーアレンジメントを紹介した。



花き展示スタンド（約 10㎡）

コンテスト出品花きや輸出促進 PR 用花きを展示した。知的財産権が保護されるようカメラの設置等により、盗難対策を行った。

**パフォーマンススタンド（約 35㎡）**

展示やワークショップ、イベントなど多目的に使用出来るスペースとして計画。子供たちへ花文化の紹介の場として、花育や各種交流イベントなどを実施。

**9-3. 情報発信スタンド、商談コーナー、協賛展示コーナー等****情報発信スタンド（15㎡）**

基本的なハーディネスゾーンを用いて、日本の高度な育種技術と多様な気候風土が育む日本各地の花きを紹介するパネル・映像を紹介。

映像では、出品花きとその生産地を紹介する構成で都度更新編集を計画、実施した。

その他、2020 年東京オリンピック・パラリンピックや 2025 年大阪・関西博覧会、日本政府観光局、2027 年横浜国際園芸博覧会のポスターを展示した。

**商談コーナー（約 10㎡）**

来場者からのビジネスコンタクトがあった場合に利用する商談コーナーを設置した。全国輸出拡大協議会の展示期間中に数回の利用実績があった。

**協賛展示コーナー（約 5㎡）**

協賛者を紹介する展示コーナーとして設置。博覧会のテーマに関連した内容で、国土交通省、庭園出展実行委員会の協賛各社のパネルや映像を紹介した。

**インフォメーション（約 5㎡）**

日本展示館の紹介、より積極的な交流の窓口としてインフォメーションコーナーを設置し、案内のほかスタンプ押印なども行った。



10. 運営業務

開場時間が午前8時から午後9時であったため、スタッフの勤務シフトを早番、遅番に分け業務を行った。日本展示館は非常に人気の高いパビリオンであったためたくさんのお客様が来訪した。そのため、館内事故の防止、展示物の盗難、破損防止への対応が必要となった。特に展示されている花きの盗難、展示品に触れる行為を防ぐために、現地事務所スタッフの配置、ベルトパーテーションの設置、サインの設置により対応を行った。また、博覧会協会より派遣されたボランティアスタッフが館内案内、誘導を行ってくれたことも展示運営業務の遂行に大きく貢献した。

10-1. 屋内出展 展示入れ替え

会期を通じて、メイン展示スタンド、いけばな展示スタンド、フラワーアレンジメントスタンド、花き展示スタンドの展示入替を行った。メイン展示スタンドの展示入替作業は出展団体が中心となっており、メイン展示スタンド以外については日本から花きが輸送されるタイミングで花き専門スタッフを中心となり展示入替を行った。出展団体の展示入替は現地事務所が立ち会い、作業時間が短縮できるよう配慮し撤去作業の補助、備品の貸し出し管理を適宜行った。



10- 2. 屋内出展 出展団体対応業務

募集团体の決定後、国内事務局よりデザインや展示期間・準備に係るスケジュール、展示品情報の提出を各団体に依頼した。

また、現地事務所は入場パス申請及びパスの配布、荷物到着確認及び荷受け立ち合い、深夜の展示作業立ち合い、撤去作業立ち合い及びゴミ処理業者の手配を行った。必要に応じて出展者のセレモニー等の立ち合い管理も行った。

10- 3. 屋内出展 花きの保管管理業務

花きの管理は、保冷コンテナ、ビニールハウスにて行った。日本から輸送された花材は、荷受作業終了後に水揚げを行い保冷コンテナで保管した。保冷コンテナには花台車を設置し、スペースの有効活用を行った。保冷コンテナ内の温度が安定せず、花きが傷んでしまったことがあったが、現地業者に対応を依頼し、保冷コンテナ内の温度をアプリで管理できるよう改善を行った。



盆栽はビニールハウスで養生、維持管理を行った。盆栽の管理の基本動作を現地事務所スタッフ全員が行えるよう担当者によるレクチャー、事務所内での作業内容の掲出を行った。



10- 4. 屋内出展 輸出促進 PR 用花き管理

輸出促進 PR 用花きは品種別に花き展示スタンドに展示した。展示する際は、品目名（中国語）、品種名、出品者、学名、産地を記載したプレートを作成し掲出するとともに、業界関係者の方への情報提供として全国花き輸出拡大協議会の問い合わせ先を QR コードにしプレートを作り掲出した。



また、一部の花材はフラワーアレンジメントスタンド他、館内の展示スペースにて花きの魅力を引き立たせるアレンジメントを作成し展示を行った。フラワーアレンジメントスタンドで展示する際は、作品に使用した花きの紹介を行った。

10- 5. コンテスト出品

現地事務所の業務としては、エントリーシートの確認・提出、エントリーした品種の出品・運搬、展示状況の確認、コンテスト結果の確認、トロフィー / 賞状の受け取り、賞金の受け取りを行った。国際園芸博覧会で行われるコンテストとしては、これまでのフロリアードやアンタルヤのように、季節の切り花、鉢物といった海外から参加しやすいカテゴリーが設定されず、Chinese Rose など開催国が出展しやすいカテゴリーが多く、エントリーを予定していたシャクヤクは出品期間が直前に繰り上げられたこともあり、日本からのエントリーは非常に少なかった。(P80 参照)

10- 6. 各種申請

(1) スタッフパス申請

関係者、出展者等のスタッフパス申請を現地事務所にて行った。入場管理は博覧会協会経由で延慶警察が行っており、開幕当初よりスタッフパスの発行が遅く、使用日の1か月前に申請を行っていたが間に合わないケースもあった。また中国人へのスタッフパスの発行が中止され、事前に現地事務所が申請したリストと身分証番号と名前を照合して入場するというオペレーションに変更となった。8月には外国人に対してもスタッフパスの発行が中止となり、中国人と同様のオペレーションに変更となった。そのため、スタッフの入場申請を毎週行うこととなった。スタッフ用ゲートのリストは各国の申請内容をまとめたもので、博覧会協会側の作業ミスで名前が消え、入場出来ないこともあり、都度現地事務所にて入場出来るよう対応を行った。

(2) 車両での搬入出許可申請

シノトランス以外の車両で荷物の搬入出する場合、搬入出許可申請が必要であった。車両進入許可申請書に搬入車両ドライバーの名前、連絡先、身分証番号、車両番号を記載し博覧会協会に申請を行った。車両は全長4.2mに規制されており、大型のトラックでの搬入はできないこととなっていた。搬入搬出のゲートは延慶警察とシノトランスが管理していたため、車両が入場できない等のトラブルが発生した際には博覧会協会及びシノトランスに交渉を行い許可が出るよう調整を行った。車両進入のレギュレーションが上手く機能しておらず、日によってまたは担当者によって振り回されることが多かったが、その都度交渉を行い入場できるよう調整した。

(3) スタッフ用車両申請

スタッフ用車両は各国2台まで申請することができた。現地事務所スタッフが通勤に使用する車両を博覧会協会に申請した。申請した車両には、車番が印刷された車両パスが発行され、通行規制エリア内への進入が許可された。但し出展国のスタッフが利用できるスタッフ専用駐車場がなかったため、規制エリア内に進入することはできたが駐車することはできなかった。



10- 7. 案内誘導

4月29日に開幕した本博覧会は、開幕当初非常に多くのお客様が来場した。5月2日は12万3千人が来場し、日本展示館にも2万1千人以上のお客様が来場した。館内での事故、混乱、展示物の破損を防ぐために多客日には入場規制を行うこともあった。また、SVIP 来訪時にはゆっくりご覧いただけるよう一般入場を制限することが博覧会協会より要求された。これに対し、入場規制を行うとともに、出口から日本展示館の軒下を抜けて入場いただく等の対応を行った。

入場規制実施時は入口のスロープ下と日本展示館入口で規制を行い、館内のお客様の退場に合わせ80名程度ずつ断続的に入場していただいた。また、出口から入ってくるお客様が多かったため、自動音声再生ができるメガホンで出口付近に設置するとともに、多客日にはスタッフを配置し逆流を防いだ。予想以上にお客様が多かったため、展示エリアのベルトパーテーションでの囲い込み、禁止行為告知用サインの設置等を随時行った。

各国パビリオンには中国人ボランティアスタッフが配置された。基本的に各国2名程度までであったが、日本は非常に人気であったため、事務局スタッフからの要請に応じ他国より多めにボランティアスタッフを配置してもらうことができた。また、ボランティアスタッフは献身的に業務を行っていただき、館内の案内誘導業務に大きく貢献していただいた。展示の説明、お客様の誘導、禁止行為・危険行為の注意を含め幅広く対応いただいた。



10- 8. 屋内出展 撤去

10月7日の閉園日、日本展示館閉館後、館内の花きの撤去作業を開始した。10月9日の閉幕式開催によるセキュリティ強化のため、8日、9日の2日間は作業要員の入場は6名までに制限され、車両の進入も禁止された。11日には両国によるドネーションリスト（中国へ寄贈する物品のリスト）の照合、12日にはコンテナ、ビニールハウスの撤去を行い撤去作業を完了し博覧会協会へ日本展示館の鍵の引き渡しを行った。

撤去スケジュール

10月7日	館内花き、展示物の撤去
10月8日	事務所内撤去作業
10月10日	錦鯉の搬出
10月11日	根付き植物の撤去、ドネーションリストの照合
10月12日	コンテナ撤去、ビニールハウス撤去、盆栽搬出、ゴミ搬出 鍵引渡



日本展示館内の撤去



ビニールハウス撤去



館内撤去完了



バックヤード撤去完了



コンテナ搬出



寄贈リストのチェック

10- 9. 屋外出展 運営業務

(1) 映像モニタープログラム

テレビモニターを日本展示館内に設置し、屋外出展実行委員会及び協賛者から提供を受けた映像を期間中放映した。



(2) ポスター掲示

すべての屋外出展委員会及び協賛者のロゴや名称をポスターとして制作し掲示した。



(3) 催事の実施

展示スペースやイベントスペースにて協賛団体による催事を実施した。



横浜植木株式会社の展示状況（6月と9月の2回開催）



一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の催事状況

協賛団体事業実施期間

出展期間	利用団体
5/11～5/17 (7日間)	積水ハウス株式会社
6/6～6/14 (9日間)	住友林業株式会社
6/15～6/21 (7日間)	横浜植木株式会社
8/26～9/1 (7日間)	積水ハウス株式会社
8/31～9/6 (7日間)	一般財団法人 自治体国際化協会（CLAIR）
9/7～9/9 (3日間)	日本政府観光局（JNTO）
9/12～9/20 (9日間)	株式会社サカタのタネ
9/21～9/27 (7日間)	横浜植木株式会社
9/27～9/29 (3日間)	長岡・小千谷「錦鯉発祥の地」活性化推進協議会
9/28～10/7 (10日間)	積水ハウス株式会社
10/1～10/6 (6日間)	一般財団法人 沖縄美ら島財団

(4) 展示・設備提供

横浜市は坪庭展示（枯山水）を設置し展示した。博覧会開幕後も存置される。



(5) 長岡・小千谷市「錦鯉発祥の地」活性化推進協議会による錦鯉の展示



株式会社石垣の浄化装置により池の水質管理を実施した。



(6) 庭園解説イベント

来場者の期待に応じた出展内容の理解促進につながる情報発信として、様々な来場者に対応するための多様な手法による情報発信を行った。そのひとつとして、造園職人による実演・体験プログラムを実施した。

9月13日（金・中秋節） 午前・午後3回

9月14日（土・中秋節） 午前・午後3回
出展庭園の概要説明・庭園管理技術を紹介し、来場者からの質問にお答えした。



(7) 日本国出展施設の寄贈



10月7日に開催したクロージングセレモニーの中で日本国出展寄贈式を実施した。国土交通省古澤課長より「出展日本庭園と日本展示館の寄贈文書」を北京博覧会事務局ジャオ国際部長に手渡した。



出展日本庭園と日本展示館の寄贈文書

(8) 庭園維持管理マニュアル



出展庭園及び設置設備（浄化装置・照明装置等）について、庭園維持管理マニュアルを中国語で作成し、北京国際園芸博覧会事務局へ贈呈した。

11. 行催事

11- 1. 開幕式

4月28日、厳戒態勢の中、習近平国家主席が出席して、北京国際園芸博覧会の開幕式典が執り行われた。一帯一路フォーラム出席のために訪中の二階自民党幹事長一行が石月公使（政府代表）、長井国交省審議官とともに招待出席した。また、中国館には博覧会協会による日本の展示（東京タワー、右下写真）が飾られた。



11- 2. オープニングセレモニー

4月29日午前9時より開催された、北京国際園芸博覧会全体の開園式の後、日本国出展としてテープカットセレモニー、日本展示館として銘板除幕式、続いて日本庭園として鯉のぼりの掲揚式を実施し、終了後一般公開した。

開催時間 10:00~11:00

- ・高鳥農林水産副大臣 挨拶
- ・石月日本国政府代表 挨拶
- ・長井国土交通省官房審議官 挨拶
- ・テープカットセレモニー
- ・高鳥農林水産副大臣 日本展示館銘板除幕
- ・日本庭園鯉のぼり掲揚式
- ・記念撮影
- ・内覧会（日本庭園、日本展示館）
- ・池坊 礼式生け



11- 3. ジャパンデー・フェスティバル

9月12日にジャパンデーを開催した。9月12日から14日をジャパンフェスティバルとし、日本文化の紹介を下記の通り計画した。下記、赤色は公式プログラムとして実施された。

9月12日			9月13日		9月14日		
グイルイシアター2 VIPルーム	会場内	日本国出展エリア	グイルイシアター2	日本国出展エリア	日本国出展エリア	清華大学	
※赤色は公式プログラム							
8:00						8:00	
		日本国出展視察					
9:00	代表との会談					9:00	
10:00	セレモニー 文化紹介アトラクション					10:00	
	博覧会場視察	意見交換会	花いけバトル	緑日ワークショップイベント等	緑日ワークショップイベント等		
11:00						庭園ツアー	
12:00		記念レセプション				庭園ツアー	
13:00							
14:00				庭園ツアー	庭園ツアー	記念シンポジウム	
15:00	横浜花博PR	日本出展オープン		庭園ツアー			
	花いけバトル		花いけバトル	庭園ツアー			
16:00				庭園ツアー	庭園ツアー		
17:00						17:00	
18:00						18:00	
19:00						19:00	
20:00						20:00	
21:00						21:00	

(公式プログラム)

(1) 日本国出展視察

視察参加者はVIPゲートより入場し、カートにて移動を行い、8時半より日本国出展の視察を行った。

(2) 両国代表面談

9時よりグイルイシアターのVIPルームにて石月日本国政府代表、榊原 2025 年国際博覧会担当大使、鈴木農林水産省官房生産振興審議官、長井国土交通省官房審議官らは、中国側の張中国国際貿易推進委員会副会長らと歓談した。両国の代表者がサイン帳に署名した。



(3) ジャパンデーセレモニー

9時半よりゲイルイシアター2にて式典が開催された。一般来場者にも参加いただいた。セレモニーの進行は日本語で行い、中国語の逐次通訳を行った。

- ・ 国旗掲揚（映像にて実施）
- ・ 石月日本国政府代表 挨拶
- ・ 鈴木農林水産省官房生産振興審議官 挨拶
- ・ 張中国国際貿易委員会副会長 歓迎挨拶
- ・ 記念品贈呈
- ・ 榑原 2025 年国際博覧会担当大使プレゼンテーション
- ・ 花いけライブパフォーマンス



セレモニーでは、文化プログラムとして花いけジャパンプロジェクトによるパフォーマンスを披露した。壺太郎氏の和太鼓の演奏で始まり、演奏と映像のイメージにあわせ、華道家やフローリスト（日向雄一郎、平間磨理夫、宮永英之、曾我部翔、細川康秀）がそれぞれの個性あるアート作品を創作するパフォーマンスを披露し、ジャパNDERを盛り上げた。

なお、ジャパNDERが政治日程（内閣改造）と重なったため、農林水産省及び国土交通省の政務とフラワー議員連盟からの参加はなかった。

（４）ジャパNDER記念レセプション

12時より日本国出展エリアにて博覧会協会幹部や海外出展各国を招き、記念レセプションを開催した。世界に日本のすし文化を普及している小川洋利先生によるすしの提供や、和太鼓と共に花いけライブパフォーマンスを披露した。

- ・長井国土交通省官房審議官 挨拶
- ・石月日本国政府代表 乾杯挨拶
- ・榊原 2025 年国際博覧会担当大使 挨拶
- ・渡辺横浜副市長 挨拶
- ・涌井日本国出展委員会委員長 閉会挨拶



(5) ジャパンフェスティバル催事

「花いけバトル」

9月13日には、一般観客参加型の「花いけバトル」を開催した。バトラーと呼ばれる華道家やフーリスト8名（日本人4名、中国人4名）が、5分間という限られた時間で作品を作り上げる戦いがトーナメント方式で行われた。勝敗の審査は会場観客が「赤・青」のうちのわを掲げて行われ、優勝者は中国人バトラーであった。花を通じた国際交流となり会場は大いに盛り上がった。



「日本の縁日」

9月13日～14日の2日間、日本の伝統的な玩具などを縁日で来場者に楽しんでもらうことができ、日本文化を身近に感じてもらうことができた。「けん玉遊び」、「風船ヨーヨー釣り」のような日本の祭りの縁日アイテムだけでなく、水に浮かんだお花をすくってもらう「お花すくい」も大変人気であった。家族連れを中心に大勢の来場者が集まり、大いに盛り上がるイベントとなった。



「日本庭園解説イベント」

9月13日と14日、庭園の芝生広場にて、日本庭園出展実行委員会による庭園解説イベントが、各日3回、1回あたり15分～20分程度で実施された。解説は日本庭園に興味があっても理解が難しいと思われる池の石組、灯籠等の配置とその意味や植栽、砂利敷き、竹垣等の手入れの仕方等といった内容で、来場者に対し庭園の仕組みについての理解を深めて頂いた。

実演者は日本の造園職人のイメージに合うよう法被・足袋を身に纏って解説を行った。



（関連イベント）

「2019年北京国際園芸博覧会開催記念シンポジウム」

9月14日、博覧会会場外の清華大学にて、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の主催により、シンポジウムが開催された。

「日本と中国における花と緑—園芸や造園にかかわる文化と伝統—」をテーマに、涌井東京都市大学特別教授の「日本庭園の系譜に与えた中国文化の影響、そして未来社会への貢献」と題して基調講演等の後、パネルディスカッションを行った。当日は学生を含む169名もの一般参加者が集まった。



11- 4. クロージングセレモニー

10月7日の午前中、日本国出展エリアで、日本国出展寄贈式、だるまの目入れ式、続いて日本庭園として鯉のぼりの降納式を実施し、終了後一般公開した。その後、日本出展にご尽力いただいた博覧会協会関係者に対し感謝の意を表し、昼食会を行った。

開催時間 9:00~9:30

- ・原口在中国日本国大使館参事官 挨拶
- ・古澤国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長 挨拶
- ・日本国出展寄贈式
- ・焦博覧会協会国際部長 挨拶
- ・日本国出展だるまの目入れ式
- ・日本庭園鯉のぼり降納式



11- 5. 閉幕式

10月9日には、厳戒態勢の中、李克強國務院総理が参加して、北京国際園芸博覧会の閉幕式典が執り行われた。石月公使（政府代表）、野口農水省室長が招待出席した。

12. ビジネス意見交換会

12- 1. ビジネス意見交換会の概要

9月12日、「両国の花き・園芸分野における交流の拡大を図る」をテーマに、日本と中国の花き業界関係者が意見交換を行った。会場は日本庭園を臨む、日本展示館内のパフォーマンススタンドとした。



座長：柴田教授（東京大学 園芸学研究室）

・日本側発表

窪田 日本大学 生物資源科学部 教授

寺井 全国花き振興協議会 会長

福永 日本花き卸売市場協会 会長

澤田 JFTD 会長

和田 日本造園建設業協会 会長

・中国側発表

李 清華大学 教授

趙 中国農業大学 教授

仇 北京花木会社 育種生産エンジニア

楊 北京国際園芸博覧会園芸部 高級エンジニア

管 北京花郷花木グループ フラワーデザイナー

12- 2. 意見交換会内容

日本と中国、両国の花き園芸および造園分野の交流進展を目的として、中国側から5名、日本側から6名（座長を含む）による意見交換会が開催された。

出席者の簡単な自己紹介が行われたあと、まず日本側からそれぞれの所属団体における活動内容ならびに中国との交流の現状について述べられ、特に、戦後順調に伸びてきた日本の花き産業はここ20年間でピーク時の3分の2程度にまで減少してしまい、現在は各種団体が協力しながら新たな需要拡大に取り組んでいること、アジアフローリスト協会（AFA）や国際園芸家協会（AIPH）などを通じて中国との国際交流が進められていることなどが紹介された。

引き続いて中国側の出席者からそれぞれの活動が述べられ、特に、中国では生態文明建設および健康中国の2つのスローガンのもと、国家的に花き園芸・造園分野の強化が図られており、産業にとっては追い風が吹くよい環境にあること、花き産業現場では品質向上、物流システムの構築、オリジナル品種の開発・普及が課題となっており、中国花き林樹協会（CFR）が設立されるなどして産業振興が進められていること、さらに統計データの整備が進められ、産業振興に活用されようとしていることなどが紹介された。

最後にこの意見交換会を今後の交流につなげる最初の機会とすること、まず両国の関係者が今後1年間の行事リストを交換することなどを確認して、拍手の中、意見交換会を終了した。限られた時間での意見交換ではあったものの、両国の交流進展を図る意味で有意義な内容であった。

※ 11月6日、日本側より今後1年間のイベントスケジュールを博覧会協会、中国側発表者に送付した。

13. 接遇業務

13- 1. 日本からの賓客対応

日本国内花き関連業界及び庭園協賛企業来訪者に対し接遇業務を行った。

博覧会会場がとても広いこと、中国館、植物館、国際館等の人気のパビリオンへの入場が2時間待ちになる日があることを考慮し、日本国出展エリアのご案内のみとした。

パビリオンの説明は日本展示館内だけでなく庭園を含め政府出展全体のコンセプトから説明を行った。

来場日	VIP来場者実績
5月29日	株式会社サカタのタネ 代表取締役社長 坂田 宏
6月4日	トヨタ自動車 総経理来場 前川 智士
6月6日	日本大使館 四方特命全権公使
6月8日	川勝平太静岡県知事
6月11日	住友林業緑化株式会社 代表取締役社長 神谷豊
6月19日	山田外美代 ご一行
6月23日	日本人北京駐在員ご家族一行
7月9日	在中国日本国横井大使、大使夫人
8月2日	全国中小企業振興機関協会 中村利雄会長ご一行
8月3日	東京都議会 尾崎大介議長ご一行
8月18日	自民党フラワー産業議員連盟 河村建夫会長ご一行 ※日中韓子ども童話交流出席

13- 2. 中国の賓客対応

日本国出展は非常に注目度が高いパビリオンであったため、多くの中国人VIPが来訪した。

博覧会協会からのVIP対応依頼は直前の依頼が多く、また、依頼を受けていたが来訪されないケースや対応を求められないケースもあった。時間が限られていたため、現地事務所の通訳スタッフに基本的な説明をしてもらい、必要に応じ現地事務所長から説明するという対応とした。

来場日	VIP来場者実績
5月3日	北京市園芸局長
5月4日	北京市副市長
5月14日	國務院参事
5月17日	中国共産党北京市委員会書記 蔡奇
5月18日	中国国際商会秘書長
5月24日	第7代中国人民政治協商会議主席 買慶林
5月25日	元国家副主席 李源潮
5月27日	前北京市人民政府市長 郭金龍
6月6日	政協副主席 蘇 輝 様ご一行

6月8日	世園会商管公司 宋丹丹
6月15日	元中央書記所書記 趙 洪祝
6月20日	元最高人民法院原檢察長 賈春旺
6月20日	山東省省長 龔 正
6月25日	北京市推荐的部分全国政協委員 ご一行
6月25日	市委組織部分管日常工作的副部長 王建中
6月27日	中央領導 ご一行
8月10日	中国建設銀行 王 祖繼行長ご一行
8月10日	万達集團CEO郁亮ご一行
8月19日	中国关心下一代工作委员会 顧秀蓮主任ご一行
9月15日	十三屆全國政協副主席 李斌様ご一行
9月26日	中国国際商会会長 高燕様ご一行
9月28日	國務院副總理 孫春兰様ご一行
9月28日	最高人民法院檢察長 張軍様ご一行

13- 3. 他出展国の賓客対応

他出展国のVIPは自国のナショナルデー前後で来訪されるケースが多かった。基本的に中国人VIP同様博覧会協会からの依頼に応じスタンバイを行ったが、突然来訪されるケースも多かった。他出展国VIPへの日本国出展の紹介は英語で行った。

来場日	VIP来場者実績
6月16日	Floriade2022 Mr. Sven Stimac ほかご一行
7月21日	在中国ウルグアイ大使
10月7日	BIE会長 Mr.Steen Christensen



2019 年北京國際園芸博覽會

第 3 章 広報業務

1. 広報ツール

1-1. キービジュアル

広報ツールを構成していく上で、イメージ統一や広報訴求力を高める為にロゴマークやキービジュアルを作成し、広報展開を行った。作成にあたっては、テーマである「Discovering Japan」を使用したビジュアルを利用し、日本庭園（屋外）と日本展示館（屋内）が一体化したイメージをオリジナルデザインし、海外の方々へ魅力あるアプローチを目指した。

（キービジュアル）



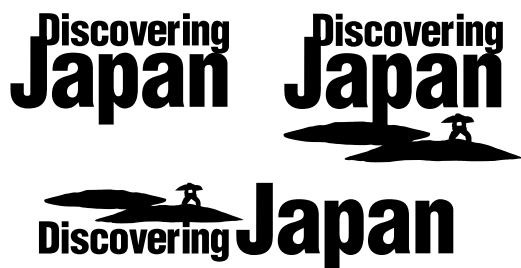
（春ビジュアル）



（夏ビジュアル）



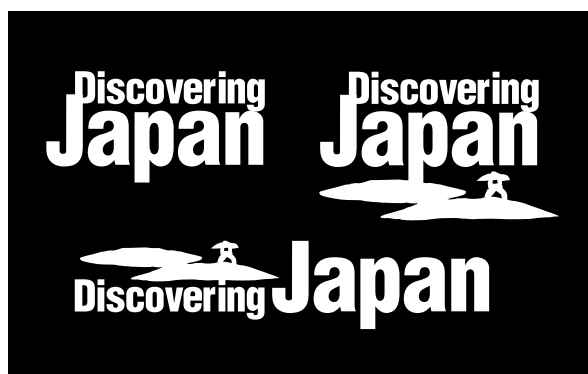
（ビジュアルバリエーション）



（秋ビジュアル1）



（秋ビジュアル2）



1-2. ウェブサイト、公式 Facebook、公式 Weibo

公式ホームページでは、博覧会の概要や日本庭園や日本展示館の紹介をはじめ、各種情報発信を行った。公式 Facebook は、中国では閲覧出来ないことから、中国国内向けの SNS ツールとして Weibo での情報拡散を行った。日本庭園と日本展示館が一体となったホームページ設計とした。

■公式ホームページ

(日本語版は 2019 年 2 月／中国語＆英語版は同 4 月公開)

日本語と中国語、英語の 3 ヶ国語の仕様とした。URL アドレスは、「expo2019.jp」とした。日本語と英語版は、Facebook を組み込み連動させた。中国語版については、Weibo と連携させて制作した。



日本語ページ（日本展示館）



中国語ページ（日本展示館）



英語ページ（日本展示館）

■公式 Facebook ページ

事務局スタッフが準備段階から開催期間を通して、施工・展示の様子、日本産花きの画像、イベントレポート、博覧会会場レポートなど投稿し、情報拡散を行った。



■公式 Weibo ページ

Weibo では、現地事務所の通訳スタッフが中国語での投稿を行った。



1-3. 配布カード、パンフレット

屋内展示のQRコード、テーマ、レイアウト等を来場者に紹介するためのポストカードサイズの配布資料を制作した。資料は中国語を使用した。カードの裏面には、日本の各季節の代表的な花きをデザインし、手にとっていただきやすいデザインとした。

仕様：ポストカードサイズ（両面）／言語：中国語／制作部数：300 万部



日本産の高品質花きをアピールするために品種の特徴を紹介したビジネス向けのパンフレットを制作した。このパンフレットは、ビジネス意見交換会などの参加者及び日本展示館に来場される花き業界関係者や園芸に興味を持つ一般来場者にも配布した。

仕様：仕上がり B5 サイズ冊子 カラー 20 ページ／言語：中国語版／制作部数：1,000 部

中国語版のほか日本語版、英語版については、公式ホームページに掲載し、必要に応じてアクセスしていただいた。



1-4. 農林水産省、日本大使館

Facebook、Twitter、Weibo

掲載実績 ※農林水産省提供

事前広報

2018年9月10日



2019年4月6日



ジャパンデー広報

2019年9月3日



2019年9月5日



2019年9月5日



2019年9月12日



開催中広報

2019年7月20日



2019年9月20日



2019年9月19日



コンテスト受賞広報



1-5. 事前広報

日本国出展事業の推進期間中に花き業界に向けた広報を行い、本事業の説明や出展者等の募集をした。

・フラワートライアルジャパン 2018

2018年9月25～27日、長野県茅野市他にてチラシ配布を実施した。

・第15回国際フラワー&プランツ EXPO

2018年10月10日、幕張メッセにて北京国際園芸博覧会に関する講演会を実施した。

2. 取材等実績

取材日	取材メディア
5月1日	CGTN
5月2日	CCTV - 4
5月3日	中国新聞社
5月4日	北京晩報
5月4日	北京日報
5月4日	新京報
5月8日	中国日報
5月8日	ChinaToday
5月9日	中国経済情報
5月10日	Global Times新聞社
5月18日	中国花卉園芸雑誌
5月23日	中国ラジオテレビ総部 CRI
6月8日	CGTN
6月5日/6日	CGTN
6月20日	CGTN
8月11日	中国貿易促進新聞
8月20日	CCTV 13
9月3日	大公網
10月3日	CGTN



■国内メディア掲載実績

- ・花卉園芸新聞 6月1日、11月1日
「北京国際園芸博」
 - ・グリーン情報 Garden Center 6月号
「いよいよ開幕！北京国際園芸博へ行こう！」
 - ・ANA 機内誌「翼の王国」 5月号
 - ・都市計画協会「新都市」 8月号
- ※屋外出展実行委員会協賛



2019 年北京国際園芸博覧会
第 4 章 コンテスト結果

1. AIPH 国際ガーデンコンテスト

AIPH と開催国で構成される審査団により、屋外庭園部門と屋内庭園部門に分けて会期中に3回の審査会が開催された。

初回審査会は開幕2日前の4月26日に、中間審査会は7月14日に、最終審査会は閉幕2日前の10月5日に実施された。10月8日に表彰式が開催され、結果が発表された。

結果、日本国出展は「大賞」を受賞した。



庭園審査の様子



日本展示館審査の様子



10/9 表彰式の様子

(左から3人目、農林水産省生産局花き産業・施設園芸振興室 野口室長)

本博覧会のガーデンコンテストで受賞された出展者は下記のとおり。

国際ガーデン部門各賞：

国際庭園大賞： 英国庭園（AIPH 賞）
カタール庭園（AIPH 賞）
日本国出展
ドイツ庭園

International Network for Bamboo and Rattan Garden

国際庭園特別賞：

シンガポール庭園
トルコ庭園
AIPH 庭園
オランダ庭園
フランス庭園
アラブ首長国連邦庭園
ベルギー庭園
アゼルバイジャン庭園

国際庭園金賞：

World Meteorological Organization Garden
タイ庭園
インド庭園
Center of International Poteto Garden
United Nations Educational Scientific and Cultural Organization Garden
大韓民国庭園
オーストラリア庭園
ロシア庭園
スーダン庭園
太平洋諸島庭園
- ミクロネシア館
- トンガ館
- バヌアツ館
- パプアニューギニア館
- サモア館
- フィジー館
Shanghai Cooperation Organization Garden
南アフリカ庭園
- コモロ館

2. 国際花きコンテスト

2-1. コンテスト概要とスケジュール

本博覧会ではボタン、中国ローズ、植物アレンジメント、盆栽、2019 国際花き園芸コンテスト、ラン類、キク類のコンテストが行われ、出品花きの展示、審査は国際館で行われた。

日本国出展としては、盆栽コンテスト、ラン類コンテスト、キク類コンテストの3回のみの出品となった。

	期 間	コンテスト	
1	4/29(月)-5/19(日)	Peony Contest	ボタン コンテスト (ボタン科・ボンタン、シャクヤク等)
2	5/23(木)-6/18(火)	Chinese Rose Contest	中国ローズ コンテスト (Rosa Chinensiss ロサ・シネンシス バラ科バラ属 バラ等)
3	6/22(土)-7/28(日)	Plants Arrangement Contest	植物アレンジメントコンテスト
4	8/1(木)-8/13(火)	Bonsai Contest	盆栽コンテスト
5	8/18(日)-8/27(火)	2019 International Floriculture Contest	2019 国際花き園芸コンテスト ※例年開催分を博覧会場で実施
6	8/31(土)-9/16(月)	Orchid Contest	ラン類コンテスト (ラン科)
7	9/20(金)-10/7(月)	Chrysanthemum Contest	キク類コンテスト (キク属)

2-2. 受賞花き



品目名：キク
品種名：舞夢黄（かがり弁黄）
出品者名：北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会



品目名：コチョウラン
品種名：ソーゴマンタ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：キク
品種名：舞夢白（かがり弁白）
出品者名：北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会



品目名：ヤマモミジ
出品者名：田畑好信



品目名：コチョウラン
品種名：桜姫
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピンクアポロ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピンクパンダ
出品者名：日本洋蘭生産協会



品目名：コチョウラン
品種名：エムエスピンクルパン
出品者名：日本洋蘭生産協会

2019 年北京国際園芸博覧会
第 5 章 輸出促進 PR 用出品花き

出品者名：株式会社フラワー・スピリット（長野県）

品目名：ラナンキュラス *Ranunculus asiaticus*

展示期間：4月29日～5月10日



品種名：煌 ※ローヌ規格



品種名：ソフィア ※ローヌ規格



品種名：ソフィア ※カルノ規格



品種名：エニフ



品種名：愛の育み ※ローヌ規格



品種名：愛の育み ※カルノ規格



品種名：シャルロットオレンジ ※ローヌ規格



品種名：シャルロットオレンジ ※カルノ規格



品種名：パンドラ



品種名：タソス



品種名：ビュゼ



フラワーアレンジメントスタンドで使用した品種については、P.107 輸送花材リストを参照。

※フラワー・スピリット出荷規格について

ローヌ規格 花径 10.5cm 以上 早期に横芽を整理してある優れたもの 長さ 60 ～ 40cm

カルノ規格 花径 9.0cm 以上 早期に横芽を整理してあるもの 長さ 60 ～ 40cm

出品者名：Hananono（長野県）
品目名：シャクヤク *Paeonia lactiflora*
展示期間：4月29日～5月10日



品種名：三礼加

出品者名：JA グループ和歌山（和歌山県）
品目名：シャクヤク *Paeonia lactiflora*
展示期間：4月29日～5月10日



品種名：華燭の典



品種名：滝の粧



品種名：ポーラフェイ



品種名：ラテンドレス

出品者名：日本洋蘭生産協会（埼玉県、山梨県）
品目名：コチョウラン *Phalaenopsis Hybrid*
展示期間：8月24日～10月7日



品種名：桜姫



品種名：ソーゴマンタ



品種名：エムエスピンク アポロ



品種名：エムエスピンク パンダ



品種名：エムエスピンク ルパン

出品者名：株式会社センティア（富山県）

品目名：チューリップ *Turip*

展示期間：4月29日～5月10日



品種名：サンブカ



品種名：キャンディタイム



品種名：コロンブス



品種名：ストロングゴールド



品種名：アドーレ



品種名：パルミラ



品種名：マスコット



品種名：モナムール

出品者名：公益社団法人日本おもと協会（茨城県）

品目名：万年青（おもと） *Rohdea japonica*

展示期間：6月19日～10月7日



品種名：新生殿



品種名：瑞泉



品種名：紫雲楽



品種名：錦秀の松



品種名：麒麟獅子



品種名：海雪



品種名：関白



品種名：縞甲獅子



品種名：福の光

出品者名：日本観棕会 犬飼康祐（大阪府）

品目名：観音竹 *Rhapis Excelsa*

展示期間：9月21日～10月7日



品種名：七宝殿白縞



品種名：綾錦



品種名：金鳳錦



品種名：白雪の宝



品種名：達磨の縞



品種名：栄山錦



品種名：昭和錦



品種名：平成錦



品種名：白銀錦



品種名：東海錦



品種名：銀鈴



品種名：小判白縞



品種名：東和殿



品種名：小達磨錦



品種名：白鳥の縞

出品者名：公益社団法人日本おもと協会（茨城県）

品目名：万年青（オモト） *Rohdea japonica*

展示期間：9月14日～10月7日



品種名：鶴裳



品種名：富士の雪



品種名：縞獅子

出品者名：有限会社エフ・エー・ジー香花園（北海道）

品目名：デルフィニウム

Delphinium grandiflorum

展示期間：9月9日～9月14日



品種名：オーロラブルーインプ



品種名：センチュリオンスカイブルー

輸出促進 PR 用出品花きの検討について

コンテスト・輸出促進部会では、いままでに中国に輸出した実績のある花きについて市場関係者や輸出者に事前ヒアリングを行い、「中国輸出実績花材リスト」を取りまとめ今後の輸出 PR に有効な品目について検討を行った。委員からの意見では、「今後中国に向けた輸出 PR 花材として、ドウダンツツジやユキヤナギなどの枝物や実付きの枝物も現地で人気があり輸出数が増加している。周年供給が可能なトルコギキョウやデザイン性に富み人気のあるディスバットマム（スプレーキクの脇芽を取り除き、一輪の花に栄養を集中させることで大きく豪華に仕立てたキクのこと）、夏場には、リンドウやダリア、小花など日本国内でしか生産をしていない花材についても今後輸出の可能性があり、重点品目として検討をしてはどうか」とのことであった。

出品品種を募集するとともに、輸送品目を選定して花材を調達し輸送を行った。

冬場～初春の主力商品である、スイートピー、ラナンキュラス、シャクヤクなどは、生産時期が少し遅かったが、品種を厳選しオープニングまでに出品することができた。

日本から輸送する花材は、入れ替えやメンテナンス花材を考慮して約2週間に1回程度を目安に行った。夏場は、暑さや湿度により花の傷みやすい為、花の日持ちが短い時期には、1週間に1度花を輸送するときもあった。日本から輸送した花材は、現地でとても人気が高く来場されたフラワーデザイナー、園芸関係者、植木関係者、一般の来場者などからの質問や今後の取引について問い合わせを受けることがあった。

2019 年北京国際園芸博覧会
第 6 章 屋内出展の成果と課題

今後の国際園芸博覧会出展の参考とするため、第3回屋内出展運営委員会で、今回の出展の成果と今後に向けた課題について意見交換を行った。

1. 出展の成果

(1) 日本の花き園芸に関する情報発信

- ・農林水産省の屋内出展と国土交通省の屋外出展を「庭屋一如」というコンセプトによって、初めて同じ場所で一体的な出展を行って日本の花き園芸文化と庭園文化を来場者に広く伝えることが出来たことは、本博覧会の総入場者数9.3百万人の1割を超える1百万人の来場者があったことから分かる。
- ・これまでは、屋内展示と日本庭園が別の場所で行われていたが、日本国出展として一体化したことから、来場者にとって日本の出展場所が分かりやすくなった。
- ・展示・管理業務に合わせたバックヤード等の設置によって効率的な作業が可能となり、日本の高品質で多様な花きの品質を維持し、最良の状態でPRすることにつながった。
- ・花きの屋内展示と日本庭園の屋外展示の一体的な出展を継続することが望ましい。

(2) 花き園芸に関わる人材育成

- ・専門スタッフは展示会場の花きの管理や来場者の接遇の経験などによって、国際的な花き産業のトレンドや動向を知り、今後世界で活躍する人材の育成につながったのではないかと。
- ・専門スタッフが管理することで、高いレベルの花きの展示を維持することができ、来場者の満足度が高かった。
- ・今後も花き園芸に関わる人材の育成、活躍する場として、博覧会というイベントを活用することが望ましい。

2. 今後に向けた課題

(1) 情報発信

- ・本出展の情報をホームページやWeibo、Facebook（日・中・英）、屋内出展通信によっ

て情報発信したが、日本国内での広報が不十分で、花き市場関係者にも北京園芸博は知られていなかった。全ての市場にポスターを配布する等の取り組み、さらには日本から多くの者が訪問するための取り組みが必要。

(2) コンテスト出品

- ・北京園芸博では、設定されたコンテストカテゴリーが限定的であったため、日本及び海外からの参加は少なかったが、コンテストへ出品しやすい環境づくりが必要。
- ・コンテストでの受賞は、輸出増の契機となる。

(3) 花きの輸出増加

- ・来場者に、日本各地の多様で高品質な花きやいけばな、盆栽等の我が国の花き文化を実際に見て体感してもらうことにより、日本産花きの輸出が更に拡大することが期待される。
- ・商談スペースの設置、輸出促進PR用花きの展示での問合せ先の情報のQRコードによる紹介などの取組を実施したが、各国で様々な見本市が開催されている中で、園芸博では生産者のみならずその国の小売業者を呼び込んでアプローチするなど、園芸博がさらに輸出機会の増加につながるよう検討が必要。
- ・福島県のドウダンツツジ（枝物）が展示に使われ、輸出が増えたと聞いた。

(4) 業務運営

- ・説明会の開催、会場への入場方法など様々なシステムの頻繁な変更のたびに出展者に情報を提供していたが、関係者全員への周知と出展者間の情報共有ができないかとの指摘があった。
- ・メイン展示が切り替わる時は、閉園後に撤収して、花材を搬入し、次の展示の準備を行うことから、作業が深夜から翌朝までかかっていたが、展示者とスタッフの負担、そして働き方改革の観点から、今後入れ替え作業日を休館日とすること等を検討したらどうか。
- ・日本国出展の記念品や園芸用品へのニーズがあり、他国同様物販を検討したらどうか。

2019 年北京國際園芸博覽會

第 7 章 資料編

1. 事業推進年表

(2017年)

- ・ 7月8日 李克強首相から安倍首相あて
招請状発出/外務省受理(9月)
- ・ 9月21日 現地調査
(農林水産省、国土交通省)
- ・ 11月27日 現地調査
(測量、資材調達調査等)

(2018年)

- ・ 2月5日 第1回日本国出展委員会
- ・ 3月1日 第1回屋内出展実行委員会
- ・ 3月2日 海外日本庭園委員会
- ・ 3月26日 第1回屋外出展実行委員会
- ・ 3月28日 屋内出展事業委託事業企画競争公示
- ・ 4月6日 閣議了解・関係省庁準備会設置
(幹事省：農林水産省、国土交通省)
- ・ 5月29日 屋内出展事業委託契約締結
- ・ 6月5日 第2回屋内出展実行委員会
- ・ 6月9日 第1期庭園整備工事着手
- ・ 6月25日～26日
参加国会議(北京)
- ・ 7月9日 日本展示館整備着手
- ・ 8月7日 第1回運営委員会(屋内展示)
- ・ 8月8日 第1回関係省庁準備会
- ・ 8月10日 メイン展示スタンド出展募集開始
- ・ 8月27日 第1回コンテスト・輸出促進部会
- ・ 9月7日 陳列区域政府委員たる政府代表任命
(在日本大使館石月公使)
- ・ 9月10日 屋内出展基本方針公表
- ・ 9月14日 メイン展示スタンド出展募集説明会
- ・ 10月5日 花き専門スタッフ募集開始
- ・ 11月15日 第1期庭園整備工事完了
(冬季休業期間)
- ・ 11月27日 第2回運営委員会(屋内展示)
- ・ 12月13日 第2回コンテスト・輸出促進部会
- ・ 12月17日 コンテスト出品花き・輸出促進PR用花き
募集開始

(2019年)

- ・ 1月22日 日本国展示館整備完了
- ・ 1月25日 ボランティア催事参加者募集開始
- ・ 1月27日 第2期庭園整備工事着手
- ・ 2月10日～11日
花き専門スタッフ研修
- ・ 3月19日 日本展示館内装工事着手
- ・ 3月27日 第2回日本国出展委員会
第2回屋外出展実行委員会
- ・ 4月12日 日本展示館内装工事完了
- ・ 4月20日 第2期庭園整備工事完了
- ・ 4月28日 開幕式
- ・ 4月29日 開園式、日本国出展オープニング
- ・ 9月12日 ジャパンデー
- ・ 9月12日～14日
ジャパンフェスティバル
- ・ 10月7日 日本国出展クロージング
閉園
- ・ 10月8日 AIPH国際ガーデンコンテスト
表彰式
- ・ 10月9日 閉幕式

(2020年)

- ・ 1月28日 第3回運営委員会(屋内展示)
- ・ 3月16日 第3回屋外出展実行委員会(予定)

2. 挨拶

■オープニングセレモニー

北京国際園芸博覧会 日本国出展の開園に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

最初に、今日を迎えるまでの皆様のご尽力に対し、心から敬意を表します。

中国でこのような大規模な国際園芸博覧会が開催されるのは、1999年に昆明で開催されて以来20年ぶりと同っております。

今回の日本の展示は、農林水産省と国土交通省が連携し、「庭屋一如」の考え方に基づいて、日本庭園と日本展示館が調和のとれた空間となるよう企画しました。日本展示館では、生け花、盆栽、フラワーアレンジメントなどが展示され、四季折々の日本の花が咲き誇ります。

この日本の花きと庭園の素晴らしさを、中国をはじめ世界に発信することにより、北京国際園芸博覧会のテーマである「緑の生活、より良いくらし」の実現に貢献するとともに、今回の出展を通し、日中両国の交流がますます深まることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

2019年4月29日

農林水産副大臣 高鳥 修一

2019年北京国際園芸博覧会の日本国出展開園式にあたり、屋外出展を担当する国土交通省を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

屋外出展である日本庭園の出展に当たっては、本日ここに参加されております都市緑化機構、国際花と緑の博覧会記念協会をはじめとする緑化関係団体からなる実行委員会を組織し、横浜市、長岡市といった自治体、また多くの民間企業からのご協力、ご協賛をいただき整備いたしました。ここに厚く御礼申し上げます。

日本国出展は、東京都市大学特別教授の涌井史郎先生を委員長に委員会を組織し、「庭屋一如」の考え方のもと設計を進め、庭園は中央に池を配置する「池泉式」とし、背後の山並みを借景としつつ、深山幽谷から三段の滝を経て海へと注ぐ日本の自然風景を、伝統的造園技術を駆使して石組みや植栽により表現しております。

また、軒の深い大屋根で日本の伝統的な空間である縁側を表現した和風建築を茶室と見立て、石灯笼やつくばいを配置し、おもてなしの空間である「露地」を設け、中国の多くの方々に空間全体で日本の雰囲気を楽しんでいただけるものと期待しております。

国土交通省と致しましても、農林水産省、外務省と連携し、会期中の維持管理に万全を期して参りたいと考えておりますので、関係の皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

本博覧会が、建国70年を迎える中華人民共和国と、令和という新たな年号が始まる日本国、さらに諸外国の友好の架け橋となり、成功を収められますことを祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2019年4月29日

国土交通大臣官房審議官 長井 俊彦

■ジャパンデーセレモニー

2019年北京国際園芸博覧会 ジャパンデーセレモニーの開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

最初に、これまでで最大規模の国際園芸博覧会の開催と運営にご尽力された北京国際園芸博覧会事務局を始めとする関係者の皆様に、心から敬意を表します。

我が国は、1984年から10回、国際園芸博覧会に参加していますが、農林水産省と国土交通省が連携し、今回初めて、日本庭園と日本展示館が一体となった出展を実現しました。8月末時点での来場者数は80万人に上り、大変多くの皆様に日本の花と庭園、そして園芸文化の素晴らしさを楽しんで頂いております。

日本では、花きを含む日本の農林水産物の素晴らしさを海外の皆さんに知ってもらい輸出を拡大する取り組みを農林水産省を始め、政府全体で行っています。

本日のジャパンデー、そして本日から9月14日までの3日間のジャパンフェスティバルでは、フローリストがステージで作品を競う「花いけバトル」や日本庭園を紹介するツアーなど、多くの方々に日本の花きと花き文化の魅力を身近に体感し、日本を理解していただく良い機会であります。

中国と日本は隣国で、長い交流の歴史を有するとともに、農林水産分野においても重要なパートナーであります。北京国際園芸博覧会によって、日中両国の交流がますます深まることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

2019年9月12日

農林水産省生産振興審議官 鈴木 良典

(レセプション挨拶)

北京国際園芸博覧会 ジャパンデー・レセプションの開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、AIPHの皆様、中国博覧会協会の皆様、そして各国展示館の皆様、また日本から日本国出展委員会、園芸・緑化関係団体の皆様、協賛企業の皆様など、お忙しい中多くの方にこのレセプションにお越しいただき、感謝いたします。

この政府出展は、農林水産省と国土交通省が連携し、日本国出展委員会の涌井委員長の「庭屋一如」の考え方のもと、建物は積水ハウス様、庭園は箱根植木様、展示はJTB様や園芸関係団体のご尽力により完成したもので、多方面から高い評価を頂き、毎日数千人が訪れ日本の園芸、造園文化の理解増進に貢献しております。

この場所でジャパンデーのレセプションができましたことは、大変喜ばしいと考えております。

また、今回は大阪・関西万博の榊原大使、AIPH日本代表である日本造園建設業協会の和田会長、横浜市の渡辺副市長にもお越しいただいておりますが、今回のこの日本国出展及びジャパンデーが、日本のイメージを向上させ、2025年大阪・関西万博の成功、また2027年の横浜国際園芸博覧会の推進につながることを祈念しております。

本日のレセプションでは、生け花パフォーマンスである「花いけバトル」を披露するとともに、日本食と中華料理も用意いたしました。日中両国の料理と日本庭園、パフォーマンスを堪能しながら、お集まりの皆様の交流がますます深まることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

2019年9月12日

国土交通大臣官房審議官 長井 俊彦

■クロージングセレモニー

2019年北京国際園芸博覧会の日本国出展閉園式にあたり、日本国政府を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

北京国際園芸博覧会の日本国出展に当たっては、農林水産省の屋内出展と国土交通省の屋外出展を一体化させ、屋外出展については都市緑化機構をはじめとする緑化関係団体からなる実行委員会を組織し、多くの自治体や民間企業からのご協力、ご協賛をいただき整備いたしました。改めて感謝申し上げます。

日本国出展は、東京都市大学特別教授の涌井史郎先生を委員長に委員会を組織し、「庭屋一如」の考え方のもと、庭園は中央に池を配置する「池泉式」とし、背後の山並みを借景としつつ、深山幽谷から三段の滝を経て海へと注ぐ日本の自然風景を、伝統的造園技術を駆使して石組みや植栽により表現しました。この池に長岡・小千谷からの錦鯉が泳ぎ、来場者を魅了しました。

また、軒の深い大屋根で日本の伝統的な空間である縁側を表現した日本展示館を茶室と見立て、石灯籠やつくばいを配置し、おもてなしの空間である「露地」を設け、空間全体で日本の雰囲気を楽しんでいただけるよう整備しました。

また展示館内ではメイン展示、生け花、盆栽、フラワーアレンジメントなどを入れ替えて展示し、四季折々の花々が来場者をもてなしました。

会期中は地元メディアからも紹介いただき、昨日までの来場者の累計は100万人を超え、一日平均では約6千4百人、最大は一日で2万人以上の来場者を記録するなど大変好評いただいております。訪れた多くの中国の方々にとっても日本の良さを理解する機会となり、日本と中国の友好に大きく寄与したと考えております。

この日本国出展は、今後農林水産省、国土交通省及び屋外出展実行委員会から北京世界園芸博覧会協会に寄贈させていただくこととしており、

博覧会終了後も適切に管理され、建国70年を迎えた中華人民共和国と日本国の友好の証として引き継がれていくことを期待しております。

結びに、本日までご出席の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

2019年10月7日

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長 古澤 達也

3. 来場者数・気温データ

■博覧会全体入場者データ

- ・総入場者数発表 9,340,000 人
- ・1日最大入場者数(5月2日) 123,040 人
- ・1日平均入場者数 57,407 人

■日本展示館入場者データ

- ・総入場者数 1,074,164 人
- ・1日最大入場者数 21,568 人
- ・1日平均入場者数 6,630 人

■日本展示館気温データ

	平均温度		温度差
	屋外	屋内	
4月	21.8℃	17.5℃	4.3℃
5月	24.7℃	20.2℃	4.5℃
6月	28.7℃	20.8℃	7.9℃
7月	29.6℃	20.8℃	8.8℃
8月	28.3℃	21.1℃	7.2℃
9月	26.1℃	20.3℃	5.8℃
10月	21.5℃	20.1℃	1.4℃

■中国の連休

労働節 5月1日(水)～5月4日(土)4連休
 端午節 6月7日(金)～6月9日(日)3連休
 中秋節 9月13日(金)～9月15日(日)3連休
 国慶節 10月1日(火)～10月7日(月)7連休

■振替平日

5月5日(日)、9月29日(日)

日付	曜日	天気	日本展示館 入場者数	累計	花き展示スタンドの気温			外気温		
					10時	15時	18時	10時	15時	18時
4月29日	月	曇り/晴れ	5,408	5,408	14.3	17.2	16.4	15.7	21.8	13.8
4月30日	火	晴れ	6,278	11,686	13.5	17.9	17.7	17.1	21.8	19.2
5月1日	水	晴れ	8,800	20,486	13.5	19.2	19.9	15.7	24.8	22.8
5月2日	木	晴れ	21,568	42,054	15.7	18.8	17.8	18.2	21.6	20.6
5月3日	金	晴れ	11,840	53,894	22.8	21.9	20.3	17.1	24.8	22.4
5月4日	土	晴れ	7,948	61,842	17.4	20.5	18.2	25.4	26.4	20.7
5月5日	日	晴れ	5,957	67,799	15.6	17.9	17.8	15.6	17.7	17.7
5月6日	月	晴れ	5,495	73,294	14.1	17.4	17.8	16.6	21.6	18.7
5月7日	火	晴れ	5,265	78,559	16.4	18.9	17.4	20.1	21.9	19.2
5月8日	水	曇り	5,910	84,469	16.9	18.8	17.3	22.1	24.3	20.5
5月9日	木	晴れ	5,997	90,466	17.4	19.7	17.8	23.2	26.4	20.6
5月10日	金	晴れ	6,726	97,192	22.1	20.5	18.5	25.3	25.5	22.6
5月11日	土	晴れ	12,348	109,540	17.8	21.2	18.2	23.5	22.9	22.4
5月12日	日	雨時々曇り	7,621	117,161	17.1	19.2	17.8	15.2	17.2	15.8
5月13日	月	晴れ	6,460	123,621	16.3	18.9	18.9	18.2	22.8	20.4
5月14日	火	晴れ	6,241	129,862	16.7	20.3	19.1	22.1	24.8	23.5
5月15日	水	晴れ	6,257	136,119	17.1	20.2	18.9	24.3	25.9	22.5
5月16日	木	晴れ	6,547	142,666	17.5	22.0	20.9	25.4	31.1	26.2
5月17日	金	晴れ	7,223	149,889	17.0	21.7	21.0	22.1	26.3	24.6
5月18日	土	小雨	10,052	159,941	16.8	19.5	18.5	17.5	17.6	17.5
5月19日	日	晴れ/強風	9,015	168,956	17.8	18.1	16.5	16.9	16.5	13.9
5月20日	月	晴れ	6,321	175,277	15.3	19.1	19.1	16.8	21.1	17.0
5月21日	火	晴れ	6,628	181,905	16.9	21.7	20.2	21.0	25.6	23.1
5月22日	水	晴れ	6,970	188,875	16.6	21.9	19.9	20.5	29.2	23.9
5月23日	木	晴れ	5,906	194,781	17.9	23.6	23.9	23.0	34.2	28.1
5月24日	金	晴れ	7,022	201,803	20.0	23.0	23.1	29.2	29.4	27.1
5月25日	土	晴れ	9,585	211,388	18.5	23.9	20.3	26.1	29.5	22.2
5月26日	日	雨時々曇り	7,749	219,137	19.5	19.1	16.9	16.6	22.1	18.2
5月27日	月	晴れ	5,992	225,129	18.5	19.3	19.4	23.6	24.6	23.1
5月28日	火	晴れ	5,979	231,108	19.9	21.1	19.4	27.1	29.5	26.6
5月29日	水	晴れ	6,225	237,333	17.5	21.4	20.6	30.1	29.3	27.6
5月30日	木	晴れ	6,501	243,834	17.5	20.5	19.5	24.1	26.9	23.2
5月31日	金	晴れ	6,558	250,392	17.5	19.6	19.1	24.1	26.7	25.9
6月1日	土	晴れ	9,469	259,861	17.3	20.8	19.5	26.3	26.1	22.1
6月2日	日	晴れ	7,682	267,543	18.1	21.6	20.7	28.9	30.3	29.0
6月3日	月	晴れ	4,617	272,160	18.0	21.6	19.8	26.6	30.3	26.3
6月4日	火	雨/曇り	5,199	277,359	19.2	19.5	17.4	21.8	24.4	22.2
6月5日	水	曇り	5,751	283,110	17.7	19.2	17.2	26.6	26.7	20.5
6月6日	木	曇り	6,183	289,293	17.8	19.5	17.2	27.8	25.1	20.0
6月7日	金	晴れ	10,285	299,578	18.1	19.2	16.8	18.1	24.5	19.8
6月8日	土	晴れ	13,023	312,601	17.8	22.5	21.8	27.2	32.1	26.7
6月9日	日	晴れ	7,349	319,950	19.1	21.1	20.5	26.9	29.9	28.1
6月10日	月	晴れ	4,273	324,223	17.3	20.3	20.2	27.1	31.1	27.1
6月11日	火	晴れ	4,857	329,080	18.1	21.9	20.7	26.9	37.0	28.1
6月12日	水	晴/雨	4,795	333,875	18.4	17.4	17.5	29.2	19.7	17.8
6月13日	木	曇り/晴れ	5,788	339,663	18.9	20.2	19.2	24.9	26.3	24.3
6月14日	金	晴れ	5,770	345,433	18.2	20.8	21.6	28.9	32.1	30.4
6月15日	土	晴れ	8,890	354,323	18.8	20.8	21.6	27.5	32.4	28.5
6月16日	日	雨	7,922	362,245	18.1	19.7	18.0	15.0	17.0	16.0
6月17日	月	曇り	6,133	368,378	18.1	19.9	20.4	21.1	25.5	19.4
6月18日	火	晴れ	4,894	373,272	16.9	21.6	21.4	25.3	32.8	26.7
6月19日	水	晴れ	5,560	378,832	17.5	22.9	25.3	29.9	30.6	19.2
6月20日	木	晴れ	5,355	384,187	17.9	22.4	21.8	30.3	32.6	29.0

日付	曜日	天気	日本展示館 入場者数	累計	花き展示スタンドの気温			外気温		
					10時	15時	18時	10時	15時	18時
6月21日	金	晴れ	6,105	390,292	17.7	20.5	18.5	29.4	27.4	24.4
6月22日	土	晴れ	7,177	397,469	17.5	23.0	23.2	29.6	31.1	30.5
6月23日	日	晴れ	5,902	403,371	17.8	23.3	22.2	30.9	32.8	30.3
6月24日	月	晴れ	3,599	406,970	17.1	21.3	20.8	32.4	33.2	31.3
6月25日	火	晴れ	3,611	410,581	17.2	21.8	22.0	30.4	30.5	29.4
6月26日	水	曇り	3,909	414,490	18.1	21.1	19.2	30.4	29.8	25.9
6月27日	木	曇り	4,409	418,899	16.5	19.6	17.9	24.5	28.6	25.1
6月28日	金	曇り	5,321	424,220	16.8	21.4	20.7	28.9	29.0	28.0
6月29日	土	晴れ	7,568	431,788	18.4	20.7	21.1	25.8	26.5	26.3
6月30日	日	晴れ	6,576	438,364	18.9	20.8	20.4	26.8	28.5	26.5
7月1日	月	晴れ	3,164	441,528	17.8	19.7	19.4	27.0	30.1	28.3
7月2日	火	晴れ	3,415	444,943	17.5	19.5	18.5	27.2	30.1	25.4
7月3日	水	晴れ	3,092	448,035	17.6	22.0	21.4	27.1	31.8	31.4
7月4日	木	晴れ	2,972	451,007	17.8	23.5	21.6	28.8	33.9	30.6
7月5日	金	雨	4,613	455,620	17.6	18.4	17.8	19.8	21.1	19.2
7月6日	土	曇り	7,925	463,545	17.5	19.2	18.5	24.1	23.4	22.1
7月7日	日	曇り	7,974	471,519	18.5	20.4	19.1	25.1	26.5	23.1
7月8日	月	晴れ	4,758	476,277	17.5	19.4	19.1	28.7	29.4	23.7
7月9日	火	曇り時々雨	4,781	481,058	17.5	17.6	17.8	23.7	24.8	24.2
7月10日	水	曇り時々雨	4,652	485,710	17.3	18.2	17.9	26.5	24.5	23.1
7月11日	木	曇り時々雨	4,612	490,322	17.3	18.2	17.9	26.5	24.5	23.1
7月12日	金	晴れ	4,984	495,306	17.1	20.4	19.1	27.8	29.4	26.4
7月13日	土	晴れ	8,092	503,398	17.5	20.8	21.5	30.8	28.6	28.6
7月14日	日	晴れ	7,336	510,734	17.5	22.1	23.1	30.0	32.8	30.9
7月15日	月	晴れ	3,975	514,709	16.7	22.5	22.5	31.3	33.1	30.1
7月16日	火	曇り／雨	4,262	518,971	16.5	19.6	17.4	28.8	25.2	22.0
7月17日	水	雨	4,656	523,627	19.0	18.0	17.8	24.3	22.4	22.5
7月18日	木	晴れ	4,458	528,085	17.8	21.5	21.1	30.4	31.4	27.7
7月19日	金	曇り	5,001	533,086	17.5	20.7	20.0	28.1	28.4	24.9
7月20日	土	曇り	9,094	542,180	17.7	20.9	20.7	24.5	27.4	27.8
7月21日	日	晴れ	7,170	549,350	17.8	23.9	24.0	31.3	37.4	34.4
7月22日	月	曇り／雨	4,717	554,067	16.8	19.6	19.8	27.3	29.4	27.0
7月23日	火	晴れ	4,363	558,430	19.0	22.2	21.5	30.9	31.7	30.9
7月24日	水	晴れ	4,090	562,520	16.6	20.0	20.2	28.2	31.3	29.5
7月25日	木	晴れ	4,377	566,897	18.2	22.4	22.9	30.8	35.7	29.8
7月26日	金	晴れ	4,152	571,049	17.8	23.9	23.5	29.3	34.1	31.6
7月27日	土	晴れ	6,388	577,437	20.2	25.0	23.2	33.0	33.2	32.4
7月28日	日	曇り	6,367	583,804	19.0	25.1	23.4	33.4	34.2	29.5
7月29日	月	雨／曇り	3,949	587,753	17.4	18.9	18.4	25.2	26.4	24.5
7月30日	火	晴れ	4,149	591,902	18.5	22.1	21.4	29.6	34.4	28.6
7月31日	水	晴れ	3,946	595,848	17.4	21.5	21.3	28.4	33.9	31.6
8月1日	木	晴れ	4,662	600,510	17.9	22.4	22.6	29.5	32.8	29.9
8月2日	金	曇り時々雨	6,435	606,945	16.8	20.8	20.3	24.5	29.2	27.0
8月3日	土	晴れ	9,467	616,412	18.8	24.1	23.6	28.2	30.6	28.6
8月4日	日	曇り／雨	8,781	625,193	18.1	21.6	20.2	26.4	28.6	22.3
8月5日	月	晴れ	4,614	629,807	19.4	21.9	21.4	27.7	28.2	25.9
8月6日	火	晴れ	4,683	634,490	17.9	22.0	21.6	30.1	31.9	29.5
8月7日	水	曇り	4,502	638,992	18.7	20.9	21.1	26.0	30.6	27.7
8月8日	木	晴れ	4,893	643,885	19.1	22.5	23.0	28.5	32.2	27.9
8月9日	金	曇り／雨	5,383	649,268	19.1	19.5	19.0	25.8	21.5	21.1
8月10日	土	曇り	8,576	657,844	18.8	20.8	20.2	25.4	25.4	25.1
8月11日	日	曇り	8,289	666,133	18.8	21.8	20.5	27.6	31.1	25.4
8月12日	月	曇り	5,914	672,047	19.8	20.1	19.5	27.6	26.9	26.3
8月13日	火	曇り	6,043	678,090	18.8	21.1	19.8	28.5	27.2	25.9
8月14日	水	晴れ	5,737	683,827	20.2	22.8	21.1	25.0	28.2	28.4

日付	曜日	天気	日本展示館 入場者数	累計	花き展示スタンドの気温			外気温		
					10時	15時	18時	10時	15時	18時
8月15日	木	晴れ	5,135	688,962	19.1	20.4	19.0	25.5	30.7	23.3
8月16日	金	晴れ	6,947	695,909	18.9	20.4	20.1	21.9	25.8	24.1
8月17日	土	晴れ	9,659	705,568	19.1	21.6	20.9	24.4	28.9	22.0
8月18日	日	晴れ	9,159	714,727	20.1	22.0	20.9	25.5	29.7	24.8
8月19日	月	晴れ	5,966	720,693	19.1	22.1	21.2	27.7	30.3	27.1
8月20日	火	雨／曇り	4,962	725,655	18.8	18.9	20.8	19.2	21.4	22.4
8月21日	水	晴れ	5,947	731,602	19.2	20.1	19.1	19.8	27.8	22.4
8月22日	木	晴れ	5,995	737,597	18.2	19.5	18.6	24.5	27.9	24.8
8月23日	金	晴れ	6,515	744,112	18.4	20.9	19.9	23.6	28.5	24.0
8月24日	土	晴れ	9,653	753,765	18.7	22.6	22.1	24.1	30.1	26.9
8月25日	日	晴れ	8,345	762,110	19.5	22.7	21.6	25.1	28.9	26.6
8月26日	月	晴れ	5,697	767,807	19.2	18.8	17.2	24.4	24.0	22.1
8月27日	火	晴れ	5,527	773,334	18.9	20.6	20.8	25.3	30.3	27.2
8月28日	水	晴れ	6,121	779,455	19.9	20.8	20.9	24.0	26.7	23.3
8月29日	木	晴れ	6,054	785,509	18.9	20.2	19.8	22.5	25.9	23.9
8月30日	金	晴れ	6,222	791,731	19.0	20.4	20.5	24.4	27.8	25.5
8月31日	土	晴れ	9,435	801,166	19.1	21.0	19.2	21.4	28.5	23.7
9月1日	日	晴れ	7,051	808,217	18.2	20.4	19.5	23.0	28.4	22.8
9月2日	月	晴れ	2,476	810,693	18.8	19.9	20.0	24.4	30.4	27.9
9月3日	火	晴れ	3,312	814,005	18.5	20.5	20.9	23.5	30.0	28.2
9月4日	水	晴れ	3,728	817,733	18.9	20.9	19.8	24.8	29.9	26.4
9月5日	木	晴れ	4,454	822,187	18.8	21.2	19.7	24.2	29.8	24.9
9月6日	金	晴れ	5,334	827,521	18.4	21.4	20.2	23.9	30.8	26.6
9月7日	土	晴れ	9,415	836,936	19.0	22.0	21.8	24.2	31.2	28.9
9月8日	日	晴れ	7,500	844,436	19.2	22.2	22.1	26.6	31.9	29.8
9月9日	月	曇り／雨	3,686	848,122	17.9	19.4	18.9	26.2	26.1	23.8
9月10日	火	雨	4,273	852,395	19.3	19.4	17.9	20.1	20.6	18.8
9月11日	水	雨	5,827	858,222	18.8	18.5	17.4	20.2	21.5	17.9
9月12日	木	曇り／雨	4,171	862,393	17.8	17.9	17.4	20.9	19.9	17.5
9月13日	金	晴れ	9,997	872,390	18.4	19.9	19.4	20.6	24.6	19.8
9月14日	土	晴れ	11,020	883,410	18.2	21.5	20.0	19.4	26.9	17.0
9月15日	日	晴れ	8,048	891,458	18.1	20.1	18.0	21.1	25.1	17.3
9月16日	月	晴れ	4,217	895,675	17.2	19.3	19.1	18.5	24.2	20.4
9月17日	火	晴れ	5,311	900,986	17.8	19.6	19.2	19.0	25.4	19.1
9月18日	水	晴れ	5,989	906,975	17.2	18.9	19.4	19.4	24.1	19.3
9月19日	木	晴れ	6,188	913,163	15.7	19.1	18.2	16.9	22.9	17.5
9月20日	金	晴れ	6,450	919,613	17.6	20.1	18.8	18.7	25.9	21.2
9月21日	土	晴れ	12,046	931,659	18.9	21.3	20.1	21.2	23.1	19.5
9月22日	日	晴れ	10,520	942,179	18.5	21.2	20.5	18.9	25.0	21.9
9月23日	月	晴れ	4,956	947,135	18.4	20.0	18.7	18.5	25.4	19.3
9月24日	火	晴れ	5,737	952,872	18.1	20.0	19.8	19.5	26.5	23.2
9月25日	水	晴れ	6,062	958,934	17.8	20.2	18.4	18.7	26.2	18.4
9月26日	木	晴れ	6,483	965,417	17.9	20.8	19.7	18.9	26.2	20.6
9月27日	金	晴れ	6,790	972,207	18.0	20.3	18.4	18.3	23.5	17.9
9月28日	土	晴れ	11,246	983,453	18.0	22.1	18.8	18.2	26.0	17.2
9月29日	日	晴れ	8,408	991,861	18.1	20.8	19.8	19.3	26.1	21.2
9月30日	月	晴れ	8,547	1,000,408	18.1	20.5	19.7	18.5	26.2	21.0
10月1日	火	晴れ	4,659	1,005,067	18.1	19.5	19.0	22.1	25.0	20.9
10月2日	水	晴れ	10,294	1,015,361	18.2	21.2	20.5	20.8	26.8	21.9
10月3日	木	晴れ	11,694	1,027,055	18.5	22.1	20.4	20.0	26.3	21.8
10月4日	金	雨／曇り	10,757	1,037,812	15.8	19.5	18.4	12.5	16.3	13.2
10月5日	土	晴れ	13,158	1,050,970	15.0	20.5	19.4	10.9	17.5	11.2
10月6日	日	晴れ	12,851	1,063,821	15.2	18.9	18.0	14.5	17.6	13.4
10月7日	月	晴れ	10,343	1,074,164	14.5	19.0	19.0	12.1	21.3	18.2

4. 輸送花材リスト

輸送日		品目名（または植物名）	産地または出品者所在地	本数	出展形式	コンテストPR花材の出品者名、政府展示制作者名
3月4日	切花	スイートピー		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	グリオサ		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	ランキユラス		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	タリア		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	デルフィニウム		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	チューリップ		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	ガーベラ		10 本	テスト輸送	事務局
	切花	トルコギキョウ		10 本	テスト輸送	事務局
4月22日	切花	シャクヤク 三礼加	長野県	50 本	PR花材/展示	Hananono
	切花	シャクヤク 華燭の典	和歌山県	50 本	PR花材/展示	JAグループ和歌山
	切花	シャクヤク 滝の粧	和歌山県	50 本	PR花材/展示	JAグループ和歌山
	切花	シャクヤク ポーラファイ	和歌山県	50 本	PR花材/展示	JAグループ和歌山
	切花	シャクヤク ラテンドレス	和歌山県	50 本	PR花材/展示	JAグループ和歌山
	切花	ランキユラス 煌 ※ローヌ規格	長野県	5 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ソフィア ※ローヌ規格	長野県	5 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス 愛の育み ※ローヌ規格	長野県	5 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス シャルロットオレンジ ※ローヌ規格	長野県	5 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス 愛の育み ※カルノ規格	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス エニフ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ソフィア	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス シャルロットオレンジ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス タソス	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ビュゼ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス バンドラ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス 煌	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス イリス	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス エニフ	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス レト	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス シャルロット	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ソフィア	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス カラ	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス タソス	長野県	20 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ボムロール	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス シュンソウ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス エムピュアピンク	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ラミア	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス オンフルール	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス 笑美	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ビュゼ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス サントロベ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス ボムロール	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	ランキユラス 藍の調べ	長野県	10 本	PR花材/展示	株式会社フラワー・スピリット
	切花	チューリップ サンパカ	富山県	40 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ キャンディタイム	富山県	40 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ コロンブス	富山県	40 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ ストロングゴールド	富山県	40 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ アドレー	富山県	10 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ パルミラ	富山県	10 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ マスコット	富山県	10 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	チューリップ モナムール	富山県	10 本	PR花材/展示	株式会社センティア
	切花	サクラ	群馬県	20 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会
	枝物	コデマリ	埼玉県	30 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会
	枝物	ユキヤナギ	福島県	30 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	スイートピー（6品種）	愛知県	300 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（10品種）	静岡県/愛知県	100 本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	葉物	アイビー	鹿児島	50 本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	葉物	ミスカンサス	スリランカ	4 束	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	切花	サンダーソニア	千葉県	50 本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
4月22日	枝物	杜松	岐阜県	20 本	展示	華道家元池坊
	葉物	シマフイ	熊本県	50 本	展示	華道家元池坊
5月22日	切花	キク	愛知県	20 本	展示	華道家元池坊
	切花	ヒマワリ（4品種）	北海道/千葉県/愛知県	40 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（15品種）	福島県/長野県/富山県/千葉県/静岡県	151 本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会

輸送日		品目名（または植物名）	産地または出品者所在地	本数	出展形式	コンテストPR花材の出品者名、政府展示制作者名
6月2日	切花	グロリオサ（5品種）	愛知県/高知県	80本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	アジサイ（14品種）	栃木県/群馬県/埼玉県/神奈川県/千葉県/東京都	102本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	オクラレカ	沖縄県	50本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	タニワタリ	台湾	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ギボウシ	山形県/千葉県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	モンステラ	シンガポール/マレーシア	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	シマフイ	熊本県	50本	展示	華道家元池坊
6月10日	切花	トルコギキョウ（10品種）	福島県/富山県/静岡県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	アジサイ（5品種）	山梨県/東京都	34本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
6月17日	切花	キク（ディスパッドマム）（10品種）	愛知県	200本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	タリア（3品種）	山形県/秋田県	55本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（6品種）	長野県	60本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	モルセラ	山形県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	リキュウソウ	茨城県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ハゴロモジャスミン	香川県	20本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ナルコユリ	新潟県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	タマシダ	東京都	40本	展示	全国花き輸出拡大協議会
6月19日	鉢物	万年青(オモト) 新生殿	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 瑞 泉	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 紫雲楽	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 錦秀の松	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 麒麟獅子	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 海 雪	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 閑 白	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 縞甲獅子	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 福の光	茨城県	1本	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
7月1日	切花	タリア（5品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	リンドウ（2品種）	岩手県/群馬県	50本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会／一般財団法人小原流
	切花	トルコギキョウ（6品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	アスパラガス	福岡県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	タマシダ	東京都	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ギボウシ	山形県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
7月9日	切花	デルフィニウム（5品種）	北海道/愛媛県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	リンドウ（2品種）	岩手県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（5品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	グロリオサ（5品種）	高知県/愛知県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ナルコユリ	新潟県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	スマイラックス	鹿児島県	20本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	アレカヤシ	台湾	40本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ニューサイラン	千葉県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ニューサイラン赤	千葉県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
7月24日	切花	キク（ディスパッドマム）（5品種）	宮城県/秋田県/北海道/愛知県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	リンドウ（5品種）	秋田県/岩手県/群馬県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（5品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	タニワタリ	沖縄県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	シマハラ	千葉県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ニューサイラン	千葉県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
8月3日	切花	キク（ディスパッドマム）（4品種）	宮城県/秋田県/岩手県/愛知県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	リンドウ（5品種）	秋田県/岩手県/長野県/群馬県	100本	PR花材/展示	全国花き輸出拡大協議会／一般財団法人小原流
	切花	トルコギキョウ（5品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	モンステラ	沖縄県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ドラセナ・コルディリネ コンシンネレインボー	沖縄県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	グレープアイビー	鹿児島県	30本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	カーネーション（4品種）	長野県	300本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	ヒムロスギ	埼玉県	50本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
8月12日	切花	カーネーション	北海道	250本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	ヒムロスギ	埼玉県	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	切花	リンドウ	群馬県	10本	展示	一般財団法人小原流
	切花	デルフィニウム（5品種）	北海道	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（5品種）	長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	イタリアンルスカス	茨城県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	アスパラガス	東京都	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ポリポディウム	沖縄県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会

輸送日		品目名(または植物名)	産地または出品者所在地	本数		出展形式	コンテストPR花材の出品者名、政府展示制作者名
8月21日	鉢物	コチョウラン 桜姫	埼玉県	2	鉢	コンテスト/PR花材	日本洋蘭生産協会
	鉢物	コチョウラン ソーゴモンタ	山梨県	2	鉢	コンテスト/PR花材	日本洋蘭生産協会
	鉢物	コチョウラン エムエスピンク アボロ	埼玉県	2	鉢	コンテスト/PR花材	日本洋蘭生産協会
	鉢物	コチョウラン エムエスピンク パンダ	埼玉県	2	鉢	コンテスト/PR花材	日本洋蘭生産協会
	鉢物	コチョウラン エムエスピンク ルバン	埼玉県	2	鉢	コンテスト/PR花材	日本洋蘭生産協会
8月26日	鉢物	万年青(オモト) 鶴 裳	茨城県	1	鉢	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 富士の雪	茨城県	1	鉢	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	鉢物	万年青(オモト) 縞獅子	茨城県	1	鉢	PR花材	公益社団法人日本おもと協会
	切花	リンドウ (5品種)	群馬県/岩手県/秋田県	100	本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ (5品種)	岩手県/山形県/長野県/秋田県	100	本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	キイチゴ	北海道	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	オクラレルカ	愛知県	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	クロトン	愛知県	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	アナスタシア (2品種)	エクアドル/コロンビア	40	本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	ツルウメドキ	茨城県	10	本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	アセビ	和歌山県	10	本	展示	一般財団法人草月会
	切花	アナスタシア (2品種)	エクアドル	120	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	カーネーション (2品種)	北海道/長野県	200	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	バラ (6品種)	山形県/宮城県/滋賀県	200	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	トルコギキョウ (2品種)	福島県	100	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	リンドウ	岩手県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	マルバハスカス	東京都	300	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	リキュウソウ	茨城県	60	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	オクラレルカ	愛知県	100	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	ヤツデ	茨城県	50	本	展示	一般社団法人 J F T D
	枝物	キューイヅル	愛媛県	40	本	展示	一般社団法人 J F T D
	枝物	ドウダンツツジ	福島県	30	本	展示	一般社団法人 J F T D
9月4日	切花	アナスタシア (2品種)	コロンビア	120	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	ピンポンム	愛知県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	カーネーション (2品種)	北海道/長野県	200	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	バラ (2品種)	山形県/宮城県	200	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	トルコギキョウ (2品種)	山形県/福島県	100	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	リンドウ	岩手県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	リキュウソウ	茨城県	60	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	オクラレルカ	愛知県	100	本	展示	一般社団法人 J F T D
	葉物	ヤツデ	茨城県	50	本	展示	一般社団法人 J F T D
9月6日	切花	アナスタシア (2品種)	愛知県/マレーシア	20	本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	ツルウメドキ	群馬県	10	本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	アセビ	三重県	10	本	展示	一般財団法人草月会
	切花	デルフィニウム オーロラブルーインブ	北海道	20	本	PR花材	有限会社エフ・エー・ジー香花園
	切花	デルフィニウム センチュリオンスカイブルー	北海道	20	本	PR花材	有限会社エフ・エー・ジー香花園
	切花	デルフィニウム	北海道	20	本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ (8品種)	長野県	150	本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	グロリオサ (5品種)	高知県/愛知県	150	本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	クッカバラ	沖縄県	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ハラン	千葉県	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	ニューサイラン	千葉県	50	本	展示	全国花き輸出拡大協議会
9月7日	切花	グロリオサ	高知県	20	本	展示	政府展示
	切花	ブルースター	高知県	20	本	展示	政府展示
	切花	カーネーション (2品種)	北海道/長野県	250	本	展示	一般社団法人 J F T D
	枝物	ヒムロスギ	群馬県	30	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	キク (コギク) (4品種)	秋田県/岩手県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	リンドウ (4品種)	山形県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	ガーベラ (2品種)	宮城県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	タリア (4品種)	秋田県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	バラ (4品種)	山形県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	トルコギキョウ (4品種)	青森県/福島県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D
	切花	カスミノウ (2品種)	福島県	80	本	展示	一般社団法人 J F T D

輸送日		品目名（または植物名）	産地または出品者所在地	本数	出展形式	コンテストPR花材の出品者名、政府展示制作者名
9月14日	切花	キク（ディスバッドマム）（8品種）	北海道/愛知県	240本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	鉢物	観音竹 天山白縞	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 天山	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 七宝殿白縞	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 七宝錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 綾錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 綾姫	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 金鳳錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 白雪の宝	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 達磨の縞	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 柴山錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 昭和錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 平成錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 白銀錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 東海錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 銀鈴	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 小判白縞	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 東和殿	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 小達磨錦	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	鉢物	観音竹 白鳥の縞	大阪府	1鉢	PR花材	日本観覧会 犬飼康祐
	切花	キク 舞夢白（かがり弁白）	愛知県	30本	コンテスト	北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会
	切花	キク 舞夢黄（かがり弁黄）	愛知県	30本	コンテスト	北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会
9月21日	切花	リンドウ（5品種）	秋田県/岩手県/群馬県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	トルコギキョウ（6品種）	北海道/秋田県/長野県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	キク（ディスバッドマム）（5品種）	北海道/秋田県/愛知県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	切花	グロリオサ（6品種）	高知県/愛知県	100本	PR花材	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	アスパラガスミオン	静岡県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	スマイラックス	鹿児島県	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	葉物	アサヒハラン	東京都	50本	展示	全国花き輸出拡大協議会
	切花	アナスタシア（2品種）	マレーシア	20本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	ツルウメモドキ	茨城県	10本	展示	一般財団法人草月会
	枝物	アセビ	東京都	10本	展示	一般財団法人草月会
	切花	カーネーション（2品種）	長野県	250本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	ヒムロスギ	群馬県	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
9月24日	切花	キク（ディスバッドマム）（3品種）	岩手県/マレーシア	150本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	切花	パンダ（2品種）	台湾	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	切花	スプレーグク（4品種）	群馬県/岩手県/栃木県	100本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	切花	ケイトウ	千葉県	50本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	野ばら	福島県	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	ナナカマド	北海道	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	鈴バラ	北海道	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	枝物	キイチゴ	群馬県	30本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
	葉物	オクラレルカ	愛知県	100本	展示	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
9月28日	切花	グロリオサ	愛知県	30本	展示	政府展示
	切花	ケイトウ（3品種）	山形県	90本	展示	政府展示
	切花	ユリ	新潟県	20本	展示	政府展示
	切花	サンダーソニア	青森県	20本	展示	政府展示
	切花	キク（ディスバッドマム）（4品種）	愛知県/マレーシア	80本	展示	政府展示
	切花	アジサイ（2品種）	群馬県	24本	展示	政府展示
	葉物	ススキ	茨城県	60本	展示	政府展示
	葉物	フトイ	熊本県	50本	展示	政府展示
	葉物	オクラレルカ	愛知県	50本	展示	政府展示
	枝物	サンキライ	東京都	10本	展示	政府展示
	枝物	ゲットウノミ	沖縄県	10本	展示	政府展示
	枝物	サンドグ	愛媛県	20本	展示	政府展示
	切花	アナスタシア（2品種）	マレーシア	20本	展示	一般財団法人草月会

5. 委員会・展示協力者・協力団体一覧 （敬称略、順不同） ※肩書は参加当時

5- 1. 日本国出展委員会

（委員長）東京都市大学 特別教授 涌井 史郎
 （委員長代理）東京大学院農学生命科学研究科 教授 柴田 道夫
 一般社団法人日本花き卸売市場協会 顧問 磯村 信夫
 公益財団法人都市緑化機構 代表理事 理事長 輿水 肇
 全国花き輸出拡大協議会 会長 田島 鉄弥
 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事 田中 充
 一般社団法人日本造園建設業協会 会長 和田 新也

3 事務局

委員会に関する庶務は農林水産省と国土交通省において行う。

4 解散

委員会は、目的を達成した時に解散する。

5 その他

この規約に定めのない事項は、委員会で定めるものとする。

【日本国出展委員会 規約】

2019 年北京国際園芸博覧会 日本国出展委員会 開催要領

1 趣旨

2019年4月から10月まで、中華人民共和国北京市において、「緑の生活美しいふるさと」をテーマに国際園芸博覧会が開催される。日本政府はこの博覧会に公式に参加する予定であり、日本の伝統的造園技術を紹介する屋外展示（国土交通省担当）と花と緑を中心とした日本の園芸技術を紹介する屋内展示（農林水産省担当）を実施することとしている。

この出展を効果的なものとし我が国の造園産業及び花き等園芸産業の発展に資するものとするため、造園関係事業者、花き産業関係者及び学識経験者等で構成する「2019年北京国際園芸博覧会日本国出展委員会」（以下「委員会」という。）を国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室と農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室の共同で開催し、出展の基本的な方向性を検討するとともに、必要な指導・助言等を行うこととする。

2 運営

（1）委員会は、別紙に掲げる委員をもって構成する。

（2）委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。委員長は、委員会の議事を運営する。また、委員長は、委員会の承認を得て、委員の中から委員長代理を指名することができる。

（3）委員会は、必要に応じ関係者を出席させ、説明又は意見の聴取を行うことができる。

（4）委員会は、忌憚のない意見交換を行うため非公開とし、議事概要をホームページで公表する。

5-2. 屋内出展

【屋内出展運営委員会】

(座長) 日本大学生物資源科学部生命農学科 教授 窪田 聡
 公益財団法人都市緑化機構 上席総括研究員 井村 久行
 さいたま市大宮盆栽美術館 館長 大野 二郎
 一般社団法人日本花き卸売市場協会 常務理事 奥田 芳彦
 一般社団法人日本植木協会 栗原 隆治
 一般社団法人日本生花商協会 副会長 小林 徹
 一般社団法人J F T D 会長 澤田 将信
 一般社団法人日本インドア・グリーン協会 副理事長 下田 博子
 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会 副理事長 白石 由紀子
 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事 田中 充
 一般社団法人日本花き生産協会 常務理事 土屋 利藏
 一般社団法人日本種苗協会 花き・栄養繁殖性植物部会 副部会長 村上 忠義
 公益財団法人日本いけばな芸術協会 常任理事 矢上 哲己
 一般社団法人花の国日本協議会 事務局長 和田 幸一

【コンテスト・輸出促進部会】

株式会社大田花き 営業本部グループリーダー 穴戸 純
 株式会社フラワーオークションジャパン 切花部 次長 堀江 素子
 株式会社なにわ花いちば 営業部 課長 牛久保 茂
 豊明花き株式会社 事業開発部 国際取引課 係長 佐々木 北斗
 福岡県花卉農業協同組合 市場統括部長 藤川 勝利
 株式会社J F 兵庫県生花 常務取締役 吉田 智

【メイン展示スタンド】

全国花き輸出拡大協議会
 株式会社サカタのタネ
 静岡県
 プリザービングフラワーズ協会
 長野県
 福島県・一般社団法人日本生花商協会
 一般社団法人日本花卉文化協会
 株式会社ミヨシ
 北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会

【展示資材協賛】

菊地合板木工株式会社 (いけばな展示和室)
 スミザーズオアシスジャパン株式会社
 クリザール・ジャパン株式会社
 株式会社東京堂
 兼弥産業株式会社
 日本植物運輸株式会社

【日本展示館設計・建築】

積水ハウス株式会社

【政府展示協力】

(花き展示協力)
 華道家元池坊
 一般財団法人小原流
 一般財団法人草月会
 一般社団法人日本花卉文化協会
 公益財団法人日本いけばな芸術協会
 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
 一般社団法人J F T D
 公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
 (写真映像等協力)
 さいたま市大宮盆栽美術館
 経済産業省
 日本政府観光局 (JNTO) 北京事務所
 東京都オリンピック・パラリンピック準備局
 横浜市

【ボランティア催事協力】

有限会社ニュー花矢
 マナコフラワーアカデミー
 一般財団法人小原流
 静岡県地域外交局地域外交課

【コンテスト出品】

田畑 好信
 日本洋蘭生産協会
 北京国際園芸博覧会出展愛知実行委員会

【輸出促進 PR 用花き出品】

Hananono
 株式会社フラワー・スピリット
 株式会社センティア
 JA グループ和歌山
 日本洋蘭生産協会
 公益社団法人日本おもと協会
 有限会社エフ・エー・ジー香花園
 日本観棕会 犬飼 康祐

【花材提供】

全国花き輸出拡大協議会
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

【輸送協力】

株式会社大田花き
株式会社フラワーオークションジャパン

【花き専門スタッフ募集審査協力】

日本大学生物資源科学部生命農学科 教授 窪田 聡
全国花き振興協議会 会長 寺井 宏次

【花き専門スタッフ研修協力】

株式会社 JTB 石毛 二郎
東京語文学院 曾 福仁

【ジャパンデーレセプション協力】

一般社団法人国際すし知識認証協会 理事 小川 洋利

【題字協力】

書家 矢部 澄翔

5-3. 屋外出展

【屋外出展実行委員会】

国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長 五十嵐 康之
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事 田中 充
公益財団法人都市緑化機構 理事長 輿水 肇
一般財団法人沖縄美ら島財団 常務理事 後藤 和夫
一般財団法人公園財団 常務理事 西川 嘉輝
公益財団法人日本家庭園芸普及協会常任参与 西川 清
一般社団法人日本公園施設業協会 専務理事 角南 勇二
一般社団法人日本公園緑地協会 事務局長 霊山 明夫
一般社団法人日本造園建設業協会 国際委員長 山田 拓広
一般財団法人日本造園修景協会 事務局長 佐藤 忠継
一般財団法人日本緑化センター 専務理事 浦田 啓充
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 専務理事 内藤 英四郎
横浜市政策局政策部 政策調整担当部長 戸田 克稔

【協賛企業・団体】

横浜市
日本政府観光局（JNTO）
長岡市、小千谷市、
長岡・小千谷「錦鯉発祥の地」活性化推進協議会
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
一般財団法人沖縄美ら島財団
一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
株式会社石垣
株式会社サカタのタネ
住友林業株式会社
積水ハウス株式会社
全日本空輸株式会社
トヨタ自動車株式会社
日本航空株式会社
横浜植木株式会社

6. 行催事参加者一覧

【オープニングセレモニー参加者】

農林水産副大臣	高鳥 修一
在中国日本国大使館 公使 政府代表	石月 英雄
農林水産省生産局長	枝元 真徹
農林水産省生産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室長	野口 武人
農林水産省生産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室	植木 隆
農林水産省生産局園芸作物課 課長補佐	清水 治弥
国土交通省官房審議官	長井 俊彦
国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長	五十嵐 康之
国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室	脇坂 隆一
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事	田中 充
全国花き振興協議会 会長	寺井 宏次
一般社団法人日本花き卸売市場協会 会長	福永 哲也
全国花き輸出拡大協議会 副会長	穴倉 孝行
公益財団法人都市緑化機構 専務理事	宮下 和正
一般社団法人日本造園建設業協会 会長	和田 新也
博覧会協会 国際部 副部長	刘 燕
博覧会協会 国際部 日本担当	冯 菲
国際園芸家協会 会長	Bernard Oosterom
国際園芸家協会 副会長	Qixiang Zhang
国際園芸家協会 副会長	Tim Edwards
国際園芸家協会 博覧会委員長	Kevin Chung
国際園芸家協会 第6地域代表	Osman Bagdatlioglu
国際園芸家協会 事務局長	Tim Briercliffe
国際園芸家協会 国際交流主任	Elena Terekhova

【ジャパNDER参加者】

在中国日本国大使館 公使 政府代表	石月 英雄
農林水産省大臣官房生産振興審議官	鈴木 良典
農林水産省生産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室長	野口 武人
農林水産省生産局園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室	植木 隆
国土交通省官房審議官	長井 俊彦
国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長	五十嵐 康之
国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室	脇坂 隆一
在中国日本国大使館 参事官	原口 大志
日本国出展委員会 委員長	涌井 史郎
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 専務理事	田中 充
全国花き振興協議会 会長	寺井 宏次
一般社団法人日本花き卸売市場協会 会長	福永 哲也
一般社団法人J F T D 会長	澤田 将信
公益財団法人都市緑化機構 専務理事	高梨 雅明
公益財団法人都市緑化機構 理事	柳野 良明
一般社団法人日本造園建設業協会 会長	和田 新也
東京大学院農学生命科学研究科 教授	柴田 道夫
日本大学生物資源科学部生命農学科 教授	窪田 聡
2025 年国際博覧会担当大使	榊原 定征
横浜市 副市長	渡辺 巧教
石原和幸デザイン研究所	原 純子
中国国際貿易推進委員会 副会長	張 慎峰
博覧会協会 国際部 部長	焦 彧童
博覧会協会 国際部 副部長	刘 燕
博覧会協会 国際部 日本担当	冯 菲
博覧会協会 国際部	樊 明亮
博覧会協会 国際部	黄 荣兴
国際園芸家協会 博覧会委員長	Kevin Chung
国際園芸家協会 国際交流主任	Elena Terekhova

英国
ドイツ
インド
アゼルバイジャン
カタール
タイパキスタン
パレスチナ他

【ビジネス意見交換会】

(座長) 東京大学院農学生命科学研究科 教授	柴田 道夫
日本大学生物資源科学部生命農学科 教授	窪田 聡
全国花き振興協議会 会長	寺井 宏次
一般社団法人日本花き卸売市場協会 会長	福永 哲也
一般社団法人J F T D 会長	澤田 将信
一般社団法人日本造園建設業協会 会長	和田 新也
一般社団法人日本造園建設業協会 国際委員長	山田 拓広
清華大学 教授	李 樹華
中国農業大学 教授	趙 梁軍
北京花木会社 育種生産エンジニア	仇 占南
北京国際園芸博覧会園芸部 高級エンジニア	楊 爽
北京花郷花木グループ フラワーデザイナー	管 艷忍

【クロージングセレモニー参加者】

在中国日本国大使館 参事官	原口 大志
国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長	古澤 達也
国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室	秋山 義典
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	植木 隆
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	岩崎 孝司
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	古川 智子
一般社団法人日本造園建設業協会 会長	和田 新也
博覧会協会 国際部 部長	焦 彧童
博覧会協会 国際部 副部長	刘 燕
博覧会協会 国際部 日本担当	冯 菲
博覧会協会 国際部	樊 明亮
博覧会協会 国際部	黄 荣兴

7. 出展事業担当

7-1. 屋内出展

【農林水産省担当者】

農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	植木 隆
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	岩崎 孝司
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	石黒 康二
農林水産省生産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室	郷古 渉

【現地事務所スタッフ（中国）】

現地事務所長（株）JTBコミュニケーションデザイン	山形 卓也
催事広報ディレクター（株）マッシュ	守本 佳代
運営ディレクター（株）マッシュ	長澤 和希
コンテストディレクター（一財）日本花普及センター	坂部 未貴
通訳スタッフ	李 剣
	魏 延紅
	呉 翔飛
	顧 曉秋
花き専門スタッフ	高智 美乃
	佐藤 明
	阿部 喜恵
	丸岡 正青
	大山 翔也
	鈴木 裕子
	丹 翔平
	菅原 早希

【日本事務局スタッフ】

事業統括プロデューサー（株）JTBコミュニケーションデザイン	塩谷 典子
統括ディレクター（株）JTBコミュニケーションデザイン	天野 克哉
統括アシスタント（株）JTBコミュニケーションデザイン	長畑 亜実
花き推進プロデューサー（一財）日本花普及センター	西岸 芳雄
花き推進プロデューサー（一財）日本花普及センター	月山 光夫
花き推進ディレクター（一財）日本花普及センター	星 敦子
企画推進ディレクター（株）マッシュ	室田 一也
設計デザイナー スペースプランニング	南 吉英

7-2. 屋外出展

【国土交通省担当者】

国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室	脇坂 隆一
国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室	秋山 義典
国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室	永瀬 光佳子

【屋外庭園等施工維持管理スタッフ】

箱根植木株式会社 現場代理人	佐々木 有信
施工責任者	高橋 成樹
整備・維持管理コーディネーター	葛 永昌
造園管理専門スタッフ（常駐）	脇野 透
通訳・コーディネーター	盛葉 夏樹
北京整備協力会社	OIANLI 千里园林

【事務局スタッフ】

公益財団法人 都市緑化機構	望月 一彦 （～2019.3）
公益財団法人 都市緑化機構	井村 久行 （2019.4～）
公益財団法人 都市緑化機構	上野 芳裕
公益財団法人 都市緑化機構	筒井 利夫
公益財団法人 都市緑化機構	伊藤 由華
公益財団法人 都市緑化機構	李 藝

2019 年北京国際園芸博覧会
日本国出展 報告書

令和 2 年 2 月末発行

＜発 行＞

農林水産省

〒 100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

国土交通省

〒 100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3

＜企画・編集＞

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

〒 105-8335 東京都港区芝 3-23-1

セレスティン芝三井ビルディング

＜編集協力＞

一般財団法人 日本花普及センター

〒 103-0004 東京都中央区東日本橋 3-6-17

公益財団法人 都市緑化機構

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-4

田村ビル 2 階

Printed in Japan